

都市ビジョン3 さらなる可能性を追求する創造発信都市

藤沢づくりのめざす方向性

7 「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生

産業や生活の基盤を支える都市機能を強化していくために、新たな拠点地区の整備や連携する道路、鉄道等の公共交通、海上交通のネットワーク化等、土地利用の方向性も含んだ「新たな都市構造の再構築」をめざします。また、産業の活力を高め、雇用の機会を増やし地産地消の推進を図るため、市民、地域の持つ資源を活かしつつ、商業、工業、観光、農水産業等、市民力、地域力、大学力、企業力等の連携によって地域経済の活力再生をめざします。

ふじさわ未来課題

62 産業の活力を高め、地域が元気になること

～まちづくり情報～

- ① 近年の経済情勢の悪化により、企業の転出が進み、産業構造の変化が生じています。
- ② 市内の大学と財団法人藤沢市産業振興財団によるインキュベーション事業によって、起業が進みつつあります。
- ③ 藤沢市では現在、湘南C-X(シークロス)という辻堂駅周辺の開発が進んでいます。
- ④ 藤沢市の都市計画においては、市街化区域が約67%、市街化調整区域が33%となっています。
- ⑤ 藤沢市の年間観光客数は、2009年度(平成21年度)に約960万人となっています。



この「ふじさわ未来課題」に関連する事業

【まちづくり市民連携事業】

市内の企業では、次のような取り組みが行なわれています。多くの企業で地元雇用の促進に努めていただいています。(藤沢市商業振興の規定による地域貢献計画より)

- ① 商工会議所との連携 ルミネ藤沢店、平井家具湘南台本店、パシオス藤沢店、株式会社ダイエー湘南台店、株式会社小田急百貨店藤沢店、イトーヨーカドー藤沢店、CDビル・ダイヤモンドビル・フジサワ名店ビル、藤沢オーパ、株式会社さいか屋藤沢店、イオン株式会社ジャスコ藤沢店、湘南とうきゅう、つるかめランド六会店、ホテル法華クラブ藤沢
- ② 商店街との連携 トレアージュ白旗、株式会社ビックカメラ藤沢店、株式会社さいか屋藤沢店、株式会社ヨークマート六会店、平井家具湘南台本店、パシオス藤沢店、株式会社ダイエー湘南台店、イトーヨーカドー藤沢店・湘南台店、藤沢オーパ
- ③ 地産地消の取り組みへの協力 株式会社ダイエー湘南台店、株式会社小田急百貨店藤沢店、そうてつローゼン湘南台店、湘南とうきゅう、ホテル法華クラブ藤沢

【戦略目標】

15 新しい産業の興る活力あるまち

【成果指標】

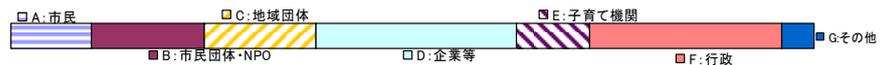
① 新しい産業の立地への満足度

② 事業所税額（決算収入済額）

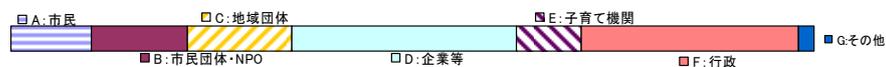
【現状値】 ①11% ②2,120百万円

【めざそう値】 3年後：①15% ②2,220百万円 6年後：①22% ②2,500百万円

【役割の担い手】 ①A:10% B:14% C:14% D:25% E:9% F:24% G:4%



②A:10% B:12% C:13% D:28% E:8% F:27% G:2%



政策と政策評価のための主要な指標

事業から生じる効果を測定するための主要な指標を示します。

《政策－53》 広域連携による都市ビジネスモデルの構築

＜指標の視点＞ 市町の連携による、交通ネットワーク等の特性を活かしたビジネスモデルがあること

〔主要な指標〕 リビングラボ関連企業の当期純利益

《政策－54》 研究開発拠点や研究開発力の高い企業の集積を目指す企業立地促進

＜成果の視点＞ 企業誘致や既存企業の市内投資の誘発によって、研究開発機能が集積した都市への転換が促進され、活力のあるまちであること

〔主要な指標〕 企業立地等事業計画認定企業の製造品出荷額等の合計

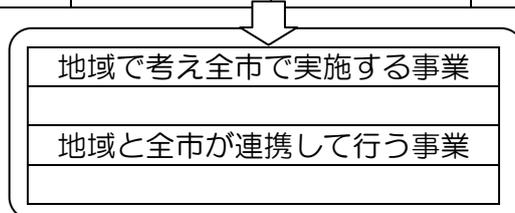
《政策－55》 産学官連携による起業支援・新産業創出の推進

＜成果の視点＞ ベンチャー企業や既存企業の新事業進出が増え、新たな活力があること

〔主要な指標〕 中小企業イノベーション支援事業の市内定着率

戦略目標に関するまちづくり事業の状況

まちづくり 地域事業	まちづくり 行政事業 (地区)	まちづくり 行政事業 (全市)	まちづくり 市民連携 事業	まちづくり 公民連携 事業	まちづくり 広域連携 事業



事業名	(仮称)リビングラボ等推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-62-15-53-1	地域分権区分					
事業内容	<p>「広域連携による都市ビジネスモデルの構築」及び「産学官連携と広域連携によるベンチャー企業支援と新産業創出」を図るため、平成25年度開設予定の「湘南C-Xアーバンライフサポートプラザ(産学融合交流プラザ)」内において、広域連携によるICT等を活用したリビングラボ事業等新製品・新社会システムのフィールド実証実験を行うことを可能とするための環境整備や支援を実施します。</p> <p>1 リビング・ラボ事業環境の構築 2 産学官連携によるフィールド実証実験への支援 3 先端技術のフィールド実証実験への支援</p>					
活動指標	①リビングラボ利用件数 ②フィールド実証実験の累計支援数					
目標値	現状値	①2②3	3年後目標値	①60②10	6年後目標値	①60②20
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	広域連携拠点施設の提供とリビングラボ事業の推進/広域連携拠点施設の提供と産学官連携の推進を行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
	H23	H24	H25			
	(市域全体)					
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	湘南C-Xアーバンライフサポートプラザにおいて、新たな製品開発のためのテスト環境の構築や実証実験による研究開発等の支援を行うことで、地域経済の活力再生と雇用の創出や税収増を図ることができます。					
実施主体	藤沢市経済部産業振興課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	企業立地等促進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-62-15-54-1	地域分権区分					
事業内容	<p>「研究開発拠点や研究開発力の高い企業の集積を目指す企業立地促進」及び「研究開発拠点や研究開発力の高い企業の集積を目指す企業立地促進」を図るため、企業立地等支援施策により、企業誘致の促進と既存立地企業の市内投資の誘発を図ります。</p> <p>1「新規産業用地の創出と市内中小企業の住工混在への対応」 新産業の森地区における産業用地創出の取り組み、市内中小企業に配慮した立地支援 2「企業誘致と既存企業の市内再投資の誘発」 新産業の森及び工業系地域に対応する税制上の支援措置、企業立地雇用奨励補助制度による支援、企業立地促進融資利子補給制度による支援など。</p>					
活動指標	企業立地等事業計画の累計認定数(件)					
目標値	現状値	52	3年後目標値	70	6年後目標値	80
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	産業用地の創出による立地促進と既存企業の立地促進/支援策の実施に伴う投資の促進/支援策の実施に伴う正社員雇用の促進を行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
	H23	H24	H25			
	(市域全体)					
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	あらたな産業用地である「新産業の森」への企業誘致の促進と、工業系地域における企業誘致や既存企業の再投資誘発を図り、産業の活性化による雇用の創出や税収増が見込まれます。					
実施主体	藤沢市経済部産業振興課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	健康と文化の森整備事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-62-15-54-2	地域分権区分					
事業内容	<p>「産学官連携による起業支援・新産業創出の推進」と西北部地域総合整備マスタープランの重点プロジェクトの一つである「健康と文化の森地区」の推進を図るため、都市拠点形成事業を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市拠点地区(健康と文化の森)において、大学の知的資源を活用し、産学公連携による産業創出、研究開発機能等の都市機能集積を促進するとともに、地域住民の生活利便機能の集積を図ります。 ・健康の森地区への高度医療施設等の整備を進めるとともに、谷戸地を含む緑地環境の良好な保全を図ります。 					
活動指標	①健康の森事業区域内の事業用地取得率②遠藤打越地区組合土地区画整理事業進捗率					
目標値	現状値	①98%②20%	3年後目標値	①98%②50%	6年後目標値	①100%②100%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	行政は、都市機能集積の検討・誘導、また必要な都市基盤整備などの役割を主体的に担います。行政は、技術的支援等の役割を主体的に担います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
	H23	H24	H25			
	(市域全体)					
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	周辺地区の自然環境、景観と共生・調和した活力創造拠点として都市機能の集積が図られるとともに、生活利便性の向上や地域活性化が図られます。用地取得や健康の森基本計画の策定により、健康の森地区への高度医療施設等の進出を促す環境整備が図られます。					
実施主体	藤沢市まちづくり推進部西北部長後地区整備事務所					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	新産業の森整備事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-62-15-54-3	地域分権区分					
事業内容	<p>「研究開発拠点や研究開発力の高い企業の集積を目指す企業立地促進」と西北部地域総合整備マスタープランの重点プロジェクトの一つである「新産業の森地区」の推進を図るため、地域住民との協働によるまちづくりにより、新たな産業ゾーンの創出を進めます。</p>					
活動指標	モデル地区全体の整備率					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	46%	6年後目標値	100%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	行政は、企業誘致やまちづくりへの支援等の役割を担います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
	H23	H24	H25			
	(市域全体)					
(地域)	調査・設計	実施	→	→	→	→
事業の成果	本市における新たな産業拠点を周辺自然環境と調和しながら基盤整備を進めることで、地域活性化ならびに雇用の安定確保が図られます。					
実施主体	藤沢市まちづくり推進部西北部長後地区整備事務所					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	新産業創出事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)					
3-7-62-15-55-1	地域分権区分						
事業内容	ベンチャー企業の育成及び既存企業の新事業進出を支援します。 「市内企業の取引拡大支援と交流促進(ネットワーキング)」 「技術革新支援の推進」 「国際展開支援の試み」 「イノベーション支援の充実」 「起業家発掘・創業支援の充実」 「テーマ誘発型の産業振興の推進」 「産学連携・広域連携の基盤づくりと強化」						
	活動指標	①ビジネスコンテスト累計応募者数 ②イノベーション支援事業の累計支援企業数					
	目標値	現状値	①195②14	3年後目標値	①270②45	6年後目標値	①345②75
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待	①起業・事業化を志す人にビジネスチャンスを与え、ビジネスマッチングや技術提携の場を提供します。②専門家による企業訪問と研究機関や大学への橋渡し支援を行います。						
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	(市域全体)						
(地域)	実施	→	→	→	→	→	
事業の成果	既存中小企業やベンチャー企業の抱える技術課題や知的財産課題を掘り起こし、研究機関や大学への橋渡しを行うことで技術革新の進展に寄与し、新事業の創出及び販路拡大による中小企業の活性化が図られます。						
実施主体	藤沢市経済部産業振興課					(連絡先) 0466-25-1111	

事業名							
体系コード	事業区分						
	地域分権区分						
事業内容							
	活動指標						
	目標値	現状値		3年後目標値		6年後目標値	
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待							
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	(市域全体)						
(地域)							
事業の成果							
実施主体						(連絡先)	

【戦略目標】

16 市民生活を支える産業の活性を高めるまち

【成果指標】

- ① 地場産品品目別取扱高合計数量
- ② 市内の工業に元気があると感じている市民の割合
- ③ 市内の商業に元気があると感じている市民の割合
- ④ 市内の農水産業に元気があると感じている市民の割合

【現状値】 ①2,408t ②8% ③15% ④13%

【めざそう値】 3年後：①2,600t ②10% ③20% ④20%

6年後：①2,850t ②20% ③30% ④25%

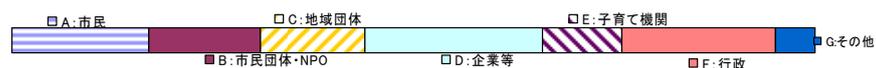
【役割の担い手】 ①A:15% B:16% C:14% D:21% E:12% F:19% G:3%



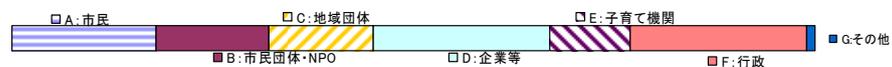
②A:12% B:12% C:10% D:26% E:9% F:26% G:5%



③A:17% B:14% C:13% D:22% E:10% F:19% G:5%



④A:18% B:14% C:13% D:22% E:10% F:22% G:1%



政策と政策評価のための主要な指標

事業から生じる効果を測定するための主要な指標を示します。

《政策－56》 コミュニティの核として地域に密着した「商店街」づくりの推進

＜成果の視点＞ 商店街に賑わいがあり、地域での交流の場ともなること

〔主要な指標〕 市内の商業に元気があると感じている市民の割合（20歳～30歳代）

《政策－57》 地産地消の推進による市内農水産業の活性化

＜成果の視点＞ 地産地消を大切に、安全安心な市内産の農水産物が身近で手に入る
こと

〔主要な指標〕 地産地消講座・食育講座の参加者数

《政策－58》 都市農業の維持・発展

＜成果の視点＞ 担い手不足の解消や新たな取り組みにより都市農業が維持され、発展し
ていくこと

〔主要な指標〕 耕地面積の合計

戦略目標に関するまちづくり事業の状況

まちづくり 地域事業	まちづくり 行政事業 (地区)	まちづくり 行政事業 (全市)	まちづくり 市民連携 事業	まちづくり 公民連携 事業	まちづくり 広域連携 事業

↓

地域で考え全市で実施する事業
地域と全市が連携して行う事業

事業名 (仮称)商店街活性化支援事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-62-16-56-1	地域分権区分					
事業内容	地域商店街は、郊外型の大規模商業施設の進出、インターネット社会の進展などにより、購買・消費行動が多様化し、商業の構造が大きく変化していることから、大変厳しい環境に置かれています。その一方では、少子高齢化が進展する中、市民生活を支える「地域コミュニティの核」として、地域商店街に対する期待も高まっています。少子高齢化における消費者ニーズに対応した「生活街」としての商業集積を進めるため、商店街の経営力等を強化するための指導事業や地域社会との連携強化、商店街と連携したコミュニティビジネスの創出・育成支援等を実施します。					
活動指標	①アドバイザー派遣回数 ②商店街ホームページアクセス数					
目標値	現状値	①6② 37,313	3年後目標値	①15②42,000	6年後目標値	①20②45,000
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	①商店街による積極的な取り組みの後押しと、課題に応じた適切なアドバイザーの派遣について役割を担います。②商店街団体等による集客力向上のため効果的な取り組みの後押しについて役割を担います。					
事業スケジュール (市域全体)	第1期			第2期	第3期	第4期
	H23	H24	H25			
	実施	→	→	→	→	→
(地域)						
事業の成果	消費者ニーズに対応し、市民(消費者)が生活を送る上で必要なさまざまな物・サービスを提供する「生活街」としての商業集積が進み、「地域コミュニティの核」として、地域商業の活性化が図られます。					
実施主体	藤沢市経済部産業振興課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名 (仮称)拠点駅等周辺商店街振興対策事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-62-16-56-2	地域分権区分					
事業内容	藤沢駅、辻堂駅、湘南台駅の3駅周辺については、「地域コミュニティの核」として商業の活性化を図ることに加え、本市の主要な都市拠点に相応しい藤沢の顔・玄関口として、地域資源を活用した商業集積の実現を図るため、地域商店街や関係団体と連携のもとに個別事業を実施します。 1. 地域資源を活用した回遊性あるまちづくりをすすめます。 2. 藤沢駅、辻堂駅、湘南台駅における各種課題対応に取り組みます。 3. 年間1,000万人を超す観光客を取り込み、商業振興を図ります。					
活動指標	①回遊性向上に取り組む拠点駅商店街数 ②観光産業と連携した商業振興取り組み数					
目標値	現状値	①0②18	3年後目標値	①3②19	6年後目標値	①10②21
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	①商店街と企業・大学・NPOとの橋渡し部分について主要な役割を担います。②商店街と観光産業等との橋渡し部分について主要な役割を担います。拠点駅周辺の商業の現状と課題を把握し、必要な施策の構築について役割を担います。					
事業スケジュール (市域全体)	第1期			第2期	第3期	第4期
	H23	H24	H25			
	実施	→	→	→	→	→
(地域)						
事業の成果	事業者と消費者の双方の視点に立ち、大型店や地域コミュニティの場などとも一体となり、消費者(市民)ニーズに対応した「生活街」としての商業集積の実現を図ります。藤沢駅、辻堂駅、湘南台駅等の拠点駅周辺の商業について、「地域コミュニティの核」としてその活性化を図ります。					
実施主体	藤沢市経済部産業振興課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名 (仮称)商店街経営基盤整備事業							
体系コード		事業区分 まちづくり行政事業(全市)					
3-7-62-16-56-3		地域分権区分					
事業内容		地域商店街を維持するための基礎となるハード整備等の経営基盤整備への支援を中心とした事業を、地域商店街や商店会連合会とともに実施するものです。 少子高齢化における消費者ニーズに対応した「生活街」としての商業集積を進めるため、商店街の基盤整備や運営支援を実施します。					
活動指標		(社)商店会連合会の会員数					
目標値		現状値	2,060	3年後目標値	2100	6年後目標値 2150	
実績値		H23		H24		H25	
役割期待		補助金による直接支援のほか、事業推進にあたり、国県制度の活用を努め商店街の負担軽減につなげます。					
事業スケジュール		第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)		H23	H24	H25			
(地域)		実施	→	→	→	→	→
事業の成果		商店街の健全経営が図られ、消費者ニーズに対応し、従来の物販だけではなく、市民(消費者)が生活を送る上で必要なさまざまな物・サービスを提供する「生活街」としての商業集積が進み、「地域コミュニティの核」として、地域商業の活性化が図られます。					
実施主体		藤沢市経済部産業振興課 (連絡先) 0466-25-1111					

事業名 (仮称)産業拠点施設整備補助事業							
体系コード		事業区分 まちづくり行政事業(全市)					
3-7-62-16-56-4		地域分権区分					
事業内容		景気の低迷に伴い地域経済が厳しい状況に置かれる中で、経済3団体のさらなる連携強化と商工業者の利便性の向上を図り、複雑、高度化している商工業者のニーズに対しワンストップで対応・支援できる施設として、商工会議所が「産業拠点施設」を建設する予定となっております。					
活動指標		産業拠点施設建設に伴う建設費助成の執行率					
目標値		現状値	0	3年後目標値	20%	6年後目標値 50%	
実績値		H23		H24		H25	
役割期待		市経済団体の商工会議所が設置する産業拠点施設の建設費の一部助成を行います。					
事業スケジュール		第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)		H23	H24	H25			
(地域)		実施	→	→	→	→	→
事業の成果		産業振興のシンボルとしての拠点機能のほか、市民や来街者が気軽に利用し、交流できる機能を併せ持つ施設として藤沢駅周辺のにぎわいや活性化にも寄与する施設と考えられます。					
実施主体		藤沢市経済部産業振興課 (連絡先) 0466-25-1111					

事業名 環境保全型農業推進事業							
体系コード		事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-62-16-57-1		地域分権区分					
事業内容							
1. 環境保全型資材・施設導入推進事業 生産者の環境保全型資材・設備の導入に対し支援することで、環境への負荷を極力抑えた農業が発展し、安心、安全な農産物の安定供給を推進します。							
2. 生産履歴記帳推進事業 生産者による生産履歴記帳を徹底し、直売所等でその情報を提供することで、安心、安全で顔の見える農産物の安定供給を推進します。							
活動指標		①エコファーマー認定者数 ②生産履歴記帳の推進度 (JA組合員のうち)					
目標値		現状値	①9人②73%	3年後目標値	①15人②100%	6年後目標値 ①20人	
実績値		H23		H24		H25	
役割期待		環境保全型資材・設備の導入に対する支援を担います。生産者に対するPR活動を担います。					
事業スケジュール							
第1期							
(市域全体)		H23	H24	H25	第2期	第3期	第4期
		→					
(地域)		実施	→	→	→	→	→
事業の成果							
生産履歴記帳を徹底することで、生産者の農薬及び化学肥料に対する意識が高まり、消費者がより安心して農産物を購入することができます。直売所等でその情報を提供することで、市民に対し顔の見える農産物の供給ができます。							
実施主体 藤沢市経済部農業水産課 (連絡先) 0466-25-1111							

事業名 地産地消推進事業							
体系コード		事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-62-16-57-2		地域分権区分					
事業内容							
生産者と消費者が信頼関係を構築し、顔が見え、話ができる直接の交流を通じて「食」と「農」の原点を見つめ直す地域の活性化を図ります。							
1. 「湘南ふじさわ産」農水産物・食品の普及啓発、情報提供							
2. 小売店、量販店、卸売業における「湘南ふじさわ産」農水産物・食品の流通促進							
3. 飲食店、公共施設、家庭等での「湘南ふじさわ産」農水産物・食品の利用促進							
4. 安全・安心、おいしい「湘南ふじさわ産」農水産物や特産品づくり							
5. 生産者と消費者の交流促進(仮称)おいしいふじさわ産サポーターの実施							
6. 食育の推進、食育講座							
活動指標		①地産地消講座・食育講座の開催(回)②量販店での「湘南ふじさわ産」コーナーの設置(店舗)					
目標値		現状値	①22②8	3年後目標値	①50②25	6年後目標値 ①50②40	
実績値		H23		H24		H25	
役割期待		講座の企画、消費者団体等講師の依頼・企画内容の打ち合わせ、食材の提供、当日の運営補助を行います。また、量販店と農水産業者との関係づくり、ホームページ、のぼり旗、販売促進シールなどの提供によるPRを行います。					
事業スケジュール							
第1期							
(市域全体)		H23	H24	H25	第2期	第3期	第4期
		→					
(地域)		実施	→	→	→	→	→
事業の成果							
市内全地区での市内産の農水産物を使用した料理教室を通し、旬の時期やおいしい食べ方、生産者と顔の見える関係づくりによって農水産業の理解が広がります。生産者の安定的な経営に繋がります。地元農水産物を使用したレストランなどをPRすることにより、商店街の活性化に繋がります。							
実施主体 藤沢市経済部農業水産課 (連絡先) 0466-25-1111							

事業名	産地強化特別対策事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-62-16-57-3	地域分権区分					
事業内容	<p>1. 施設野菜有望品種導入事業:藤沢を代表する施設野菜のトマトやキュウリの安定生産と良食味を実現するため、トマト黄化葉巻病耐病性品種や食味の優れた有望品種の導入を推進します。</p> <p>2. 露地野菜有望品種導入事業:市民がいつでも市内産の農産物を入手することができるよう、出荷量の少ない時期に対応できる品目や食味の優れた有望品種、難防除病虫害に強い品種等の導入を推進します。</p> <p>3. 果樹有望品種導入事業:市民が市内産の果実を入手できる機会を増やします。</p>					
活動指標	農協共販農産物の平均単価向上(円/kg)					
目標値	現状値	206.96	3年後目標値	210	6年後目標値	215
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	有望品種の種苗代及び先進的な栽培技術の導入に係る費用について役割を担います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	耐病性品種や食味の優れた有望品種を導入することで、産地競争力を高め、農業所得の向上を図ります。					
実施主体	藤沢市経済部農業水産課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	水産業活性化事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-62-16-57-4	地域分権区分					
事業内容	<p>1. 魚介類放流事業/魚価の高い魚を、その魚が成長して漁獲となったときに収入増となるよう放流します。2. 漁港イベント開催事業・地引き網体験イベント事業/魚や漁業に対する理解を深めてもらい、地産地消につながるよう、触れ合う機会を一般の市民に対し提供します。3. イセエビ礁設置効果調査事業・イセエビ礁設置事業/魚価の高いイセエビが住み着くよう21年度にイセエビ礁の設置を実施したが、どの程度設置効果があったのか、目視により調査し、新たなイセエビ礁の必要性を検討します。</p>					
活動指標	放流した魚介類の数量(尾)					
目標値	現状値	23875	3年後目標値	69000	6年後目標値	69000
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	放流する魚種の選定に係る漁協と県栽培協会との調整・委託発注を行います。イベント内容の設計・漁協との調整・市民への周知・参加者募集・イベント当日のスタッフ業を行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	水産資源を保護・維持し、「作り育てる漁業」を推進するとともに、漁業者の安定した収入につなげることができます。市民の魚や漁業に対する理解を深め、水産物の地産地消につなげることができます。					
実施主体	藤沢市経済部農業水産課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	水産物地産地消促進事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)					
3-7-62-16-57-5	地域分権区分						
事業内容	江の島片瀬漁業協同組合の定置網で獲れた魚介類の直売を片瀬漁港・ごしょみーな・JA大型直売所等で行うとともに、水揚げされた魚介類の販路拡大及び市内流通を図ることにより、「水産物の市内流通」を実現し、あわせて漁業関係者の雇用の確保や生活の向上を図る。 1. 漁協販売部による漁港等直売事業 2. 漁協販売部による販路拡大事業 3. 漁協販売部による地産地消推進事業						
	活動指標	漁協販売部の売上高(千円)					
	目標値	現状値	39152	3年後目標値	56000	6年後目標値	56000
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待	直売等の人的支援及び啓発・PRを行います。						
事業スケジュール (市域全体)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	→						
	実施	→	→	→	→	→	
(地域)							
事業の成果	漁協が独立した経営体として成り立つようになり、組合員や組合職員の雇用の確保・生活の向上を図ることができるようになると同時に、本市の地産地消推進計画に沿って、地元産の水産物が市民の食卓に供されるようになります。						
実施主体	藤沢市経済部農業水産課					(連絡先) 0466-25-1111	

事業名	畜産経営環境整備事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)					
3-7-62-16-57-6	地域分権区分						
事業内容	1.家畜農家のふん尿処理施設などの畜産経営に係る施設の改修費用を助成することにより、畜産農家周辺の環境の向上が図られ、周辺に居住する住民から畜産に関する理解を得ることにより畜産啓発が図られ、農業振興に寄与することが期待されます。2.改修費等を助成することにより、経営安定が図れ、神奈川県下最大の飼育数を有する養豚業を中心とした、本市の畜産業のさらなる発展に寄与することができ、湘南ふじさわ産の畜産物のますますの普及拡大が図れ、国内での「湘南ふじさわ産」ブランドの確立が期待されます。						
	活動指標	改修施設の数					
	目標値	現状値	—	3年後目標値	9	6年後目標値	18
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待	行政は、畜産農家の行う畜舎環境の整備に対し助成を行います。						
事業スケジュール (市域全体)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	→						
	実施	→	→	→	→	→	
(地域)							
事業の成果	最新の機器への更新により、周辺環境の向上が図られ、周辺住民からのその場所での経営に対し理解が得やすくなり、畜産啓発が図れます。さらには飼育頭数の増により、湘南ふじさわ産の畜産物(やまゆりポークなど)のさらなる普及拡大が図れます。						
実施主体	藤沢市経済部農業水産課					(連絡先) 0466-25-1111	

事業名	藤沢市地方卸売市場事業(特別会計)					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-62-16-57-7	地域分権区分					
事業内容	<p>藤沢市地方卸売市場については、卸売市場再整備基本計画(平成19年3月)に基づき、平成19年に中央卸売市場から地方卸売市場へ転換し、平成21年には指定管理者制度を導入するなど再整備を実施し、将来の経営形態として民営化の可能性を検討してきました。</p> <p>昨年6月から、卸売市場の基幹機能の再構築と市場会計の健全化をより推進するため、市、卸売会社において民営化の可能性について協議を進め、現在の市場機能を維持したうえで、「総合食品卸売市場」として市場を再編整備し、平成24年4月から、民営化市場の運営を行うこととしました。</p>					
活動指標	藤沢市地方卸売市場の民営化進捗度					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	100%	6年後目標値	100%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	民営化を促進し、市場流通機能に支障が出ないよう、市場内業界団体および県等との調整を図ります。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→		
事業の成果	開設者と卸売業者が一体化することにより一元的な管理が可能となり迅速な意思決定が見込めます。市場としては大手卸売会社の支援を受けることにより、青果機能の拡充を図ることが出来ます。					
実施主体	藤沢市経済部農業水産課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	宮原地域活性化事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-62-16-58-1	地域分権区分					
事業内容	<p>地域の活動を行政が支え、または後押しすることによって、住民主体で考え、行動することが期待できるようになると同時に、地域の農業の課題の解消や他地区への波及効果なども期待できることから、宮原地域において、荒廃地解消事業に対する助成等を行います。</p> <p>1. 宮原地域活性化拠点施設運営費補助 2. 荒廃地対策事業費補助</p>					
活動指標	①「宮原コミュニティかわせみ」料金収入(円) ②減少した荒廃地の面積(ha)					
目標値	現状値	①0②0.78	3年後目標値	①10万②1.08	6年後目標値	①15万②1.38
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	「宮原コミュニティかわせみ」の運営が軌道に乗るよう、最低限の必要経費について支援を行います。荒廃地対策に要する費用の一部助成及び地域による荒廃地調査の人的協力等を行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	施設の運営に要する経費助成を行うことにより、地域で施設を継続して活用することが可能となり、地域の活性化につながります。					
実施主体	藤沢市経済部農業水産課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名 農地活用推進事業							
体系コード		事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-62-16-58-2		地域分権区分					
事業内容		1. 農地防災空間化促進事業: 災害が発生したとき、一時避難場所等として活用できる農地をあらかじめ登録します。2. 遊休農地解消事業: 荒廃地化した農地を解消します。3. 新規就農者利用権設定奨励金事業: 農地を持たない新規就農者に対して、利用権設定のための奨励金を支出します。4. 観光農園整備事業: もぎ取りや直売等の観光農園を行っている果樹農家を中心に施設及び看板等の観光農園整備に係る費用の一部について助成します。					
活動指標		①防災協力農地登録箇所 ②遊休農地解消面積(a)					
目標値		現状値	①53②29	3年後目標値	①100②50	6年後目標値	②50
実績値		H23		H24		H25	
役割期待		制度のPRを行います。遊休地解消のための関係団体等との調整を行います。					
事業スケジュール		第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)		H23	H24	H25			
(地域)							
		実施	→	→	→	→	→
事業の成果		市街地を中心とした農地を災害時の一時避難場所や緑地空間等として多面的に有効活用することで、市民にとっては安全な避難場所の確保、農業者にとっては農業への理解促進等の効果をもたらします。荒廃地化が進んだ農地を開墾することで、良好な農地として活用することができます。					
実施主体		藤沢市経済部農業水産課				(連絡先) 0466-25-1111	

事業名							
体系コード		事業区分					
		地域分権区分					
事業内容							
活動指標							
目標値		現状値		3年後目標値		6年後目標値	
実績値		H23		H24		H25	
役割期待							
事業スケジュール		第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)		H23	H24	H25			
(地域)							
事業の成果							
実施主体							(連絡先)

【戦略目標】

17 産業や生活基盤を支える，都市構造を構築するまち

【成果指標】

- ① 交通などの都市基盤が充実していると感じている市民の割合
- ② 市内主要駅の乗車客数

【現状値】 ①37% ②301 千人

【めざそう値】 3年後：①40% ②320 千人

6年後：①50% ②350 千人

【役割の担い手】 ①A:14% B:13% C:15% D:20% E:10% F:25% G:3%



②A:15% B:10% C:8% D:23% E:15% F:24% G:5%



政策と政策評価のための主要な指標

事業から生じる効果を測定するための主要な指標を示します。

《政策－59》 都市計画制度の活用による住環境整備や産業の活性化

＜成果の視点＞ 計画的なまちづくりによって，くらしやすさと活気があること

〔主要な指標〕 交通などの都市基盤が充実していると感じている市民の割合（20歳～50歳代）

《政策－60》 総合交通ネットワークの充実による交通体系の確立

＜成果の視点＞ 誰でも，どこにでもスムーズに行くことができる交通であること

〔主要な指標〕 交通などの都市基盤が充実していると感じている市民の割合（60歳代～）

《政策－61》 安全で快適な地域まちづくりの推進

＜成果の視点＞ 安全で快適なまちづくりを進める仕組みがあること

〔主要な指標〕 区画整理区域面積の市街化区域に対する割合

《政策－62》 都市形成に資する道路ネットワークの構築

＜成果の視点＞ 安全でくらしやすいまちを支える道路が整っていること

〔主要な指標〕 都市計画道路の計画延長に対する整備済延長の割合

《政策－63》 都心の活動を創生する都市機能の再構築の推進

＜成果の視点＞ 新しい時代に即した活力と活気のある都市に変わっていること

〔主要な指標〕 辻堂駅・藤沢駅の乗客数

戦略目標に関するまちづくり事業の状況

まちづくり 地域事業	まちづくり 行政事業 (地区)	まちづくり 行政事業 (全市)	まちづくり 市民連携 事業	まちづくり 公民連携 事業	まちづくり 広域連携 事業



地域で考え全市で実施する事業
地域と全市が連携して行う事業

事業名							片瀬山公園新設事業							
体系コード		事業区分		まちづくり行政事業(全市)			3-7-62-17-59-1		地域分権区分					
事業内容							<p>片瀬山公園は、藤沢市唯一の風致公園であり、片瀬山に残る風致環境を維持する公園で、周辺の寺社等と一帯となって地域住民の憩いの場、藤沢を代表する景観の形成の一端を担っています。</p> <p>現在用地の取得が完了している1.01haについて整備を行います。事業の実施については、本市の緑とオープンスペースの総合的な計画である藤沢市緑の基本計画における整備の方針に即して行い、計画での緑化重点地区内の事業として、都市計画公園未供用区域の整備を図ります。</p>							
活動指標							整備進捗率							
目標値		現状値		30.20%		3年後目標値		30.20%		6年後目標値		40.8%		
実績値			H23			H24			H25					
役割期待							設計・施工に際し、市民・地域の意見を十分反映させて行います。							
事業スケジュール							第1期		第2期		第3期		第4期	
(市域全体)		H23		H24		H25								
(地域)		実施		→		→		→		→		→		
事業の成果							地域のコミュニティ形成の場や、市民に潤いと安らぎを与える緑豊かなオープンスペース、災害時の避難場所などとしての防災拠点、余暇空間の確保などがはかられ、市民の安全・安心、豊かな生活空間の確保に寄与します。							
実施主体							藤沢市まちづくり推進部まちづくりみどり推進課 (連絡先) 0466-25-1111							

事業名							川べりの遊歩道(引地川緑地)新設事業							
体系コード		事業区分		まちづくり行政事業(全市)			3-7-62-17-59-2		地域分権区分					
事業内容							<p>引地川緑地は、本市の「みず・みち・みどりの基幹軸」として位置づけられており、日常生活やレクリエーションの軸として、また災害時における避難路として整備を行っているものです。</p> <p>現在、概ね大庭鷹匠橋までの整備が完了しており、今後は大庭鷹匠橋から上流、大和市までの事業化、整備に向けて、都市計画決定を行います。計画決定後、事業計画を立案、整備に着手し、大和市までの供用開始をはかります。事業の実施については、本市の緑とオープンスペースの総合的な計画である藤沢市緑の基本計画における整備の方針に即して行くと共に、神奈川県河川改修や橋りょう架け替え事業の進捗にあわせて行います。</p>							
活動指標							事業化進捗率							
目標値		現状値		0%		3年後目標値		0%		6年後目標値		100%		
実績値			H23			H24			H25					
役割期待							地域の意見を十分反映させた計画を立案します。							
事業スケジュール							第1期		第2期		第3期		第4期	
(市域全体)		H23		H24		H25								
(地域)		実施		→		→		→		→		→		
事業の成果							地域のコミュニティ形成の場や、市民に潤いと安らぎを与える緑豊かなオープンスペース、災害時の避難場所などとしての防災拠点、余暇空間の確保などがはかられ、市民の安全・安心、豊かな生活空間の確保に寄与します。							
実施主体							藤沢市まちづくり推進部まちづくりみどり推進課 (連絡先) 0466-25-1111							

事業名	基礎調査事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-62-17-59-3	地域分権区分					
事業内容	都市計画基礎調査は、都市計画法第6条に規定されている基礎調査として5年毎に行うものであり、人口、土地利用現況、建物用途現況、都市施設、市街地整備状況等の調査を、町丁目、用途地域等で区分したゾーン毎に行うことにより、都市の動態把握とともに都市計画の策定及び進行管理に活用するものです。前回基礎調査(平成18年度)からの5年間に於ける都市動態の把握ができるほか、そのデータベース化により都市情報として汎用性の高いデータが蓄積されます。					
活動指標	高度地区指定面積					
目標値	現状値	0ha	3年後目標値	2,300ha	6年後目標値	2,300ha
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	高度地区の都市計画決定手続きを行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	前回基礎調査(平成18年度)からの5年間に於ける都市動態の把握ができるほか、そのデータベース化により都市情報として汎用性の高いデータが蓄積される。また、次回線引き見直しに向けた基礎資料を整えることができます。					
実施主体	藤沢市計画建築部都市計画課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	御所見地区整備事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-62-17-59-4	地域分権区分					
事業内容	政策-59「都市計画制度の活用による住環境整備や産業の活性化」と西北部地域総合整備マスタープランの実現に向け、地域住民との協働によるまちづくりにより、田園環境と調和した都市基盤施設整備と秩序ある都市的土地利用を図ります。 ・御所見中心地区形成事業 ・御所見地区の生活基盤の整備					
活動指標	①御所見中心地区の組合土地地区画整理事業の整備率 ②宮原古里線道路築造事業の進捗率					
目標値	現状値	①0%②76%	3年後目標値	①0%②100%	6年後目標値	①35%②100%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	行政は、まちづくりへの支援について役割を担います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	地区内生活道路等の整備を行うことにより、地域住民の生活利便性の向上及び安全性の確保が図られます。御所見中心地区における商業機能、居住機能の充実を図ることで、周辺の市街化区域と一体となった地域活力の創造の場として、周辺環境と調和した中心地区にふさわしいまちが形成されます。					
実施主体	藤沢市まちづくり推進部西北部長後地区整備事務所					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	総合交通体系推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-62-17-60-1	地域分権区分					
事業内容	<p>1. 東京都市圏パーソントリップ調査結果解析、道路交通情勢調査や他の調査結果を参考にし、人と物の動きについて、将来交通需要予測を行い、幹線道路網や公共交通機関の将来の整備の方向を見定め、望ましい総合交通体系のあり方を検討します。</p> <p>2. 神奈川県・藤沢市・慶應義塾大学・相模鉄道(株)の4者で構成される『いずみ野線延伸の実現に向けた検討会(平成22年6月1日設立)』において、延伸する交通システム・延伸地域のまちづくり・環境配慮型交通システム等、延伸の実現に向けより具体的な検討に取り組みます。</p> <p>3. (仮称)新南北線の検討を行う中では、中短期的な導入を目指す連節バス事業化のため、市民・交通事業者と検討します。</p>					
活動指標	①都市交通体系策定進捗度 ②(仮称)新南北線の検討進捗度					
目標値	現状値	①0%②10%	3年後目標値	①100%②30%	6年後目標値	①—②50%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	将来交通需要予測を行い、望ましい総合交通体系のあり方を検討します。中短期的には連節バスの導入を行い、長期的にはLRTの導入検討を進めます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	都市マスタープランの分野別計画として位置づけられる都市交通マスタープランの策定の際の資料を得ることができるとともに、その実現のための総合交通戦略を策定する際の基礎的資料となります。その他各種計画の立案・策定や事業の検討・実施の際においても活用できます。					
実施主体	藤沢市計画建築部都市計画課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	相鉄いずみ野線延伸整備事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-62-17-60-2	地域分権区分					
事業内容	<p>相模鉄道いずみ野線の湘南台駅以西への延伸については、平成16年度から平成18年度まで『いずみの野線延伸研究会』において、湘南台駅～ツインシティ間(約8km)について研究を行った。過年度の研究結果を踏まえて、湘南台駅～慶應義塾大学SFCまでの区間(約3.2km)について、第1期として『いずみ野線延伸の実現に向けた検討会(平成22年6月1日設置)』で、延伸の実現に向けた具体的な検討を進めており、平成23年度で結果のとりまとめがなされる予定です。</p> <p>検討会の結果を受けて、事業化に向けた環境アセスメントや都市計画決定に向けた調査業務を、その後事業化を予定しています。</p>					
活動指標	①整備事業費支出額 ②事業化に向けた事業の調査及び事務					
目標値	現状値	①0%②0%	3年後目標値	①1%②60%	6年後目標値	①12%②100%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、整備工事等の費用負担を行います。事業化に向けた環境アセスメント及び都市計画決定に向けた調査を行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	検討・調査	→	→	実施	→	→
事業の成果	「最先端の研究成果」や「鉄道事業者としての知識や経験」を結集させるとともに、「沿線地域のまちづくり」についても検討する必要があるため、神奈川県・藤沢市・慶應義塾大学・相模鉄道の4者がそれぞれの分野を活かした産官学の協働により、広域交通ネットワークの充実を図ることが出来ます。					
実施主体	藤沢市計画建築部都市計画課					(連絡先) 0466-25-1111

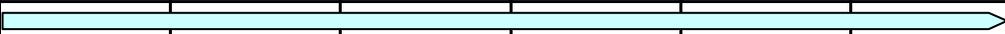
事業名		住居表示事業					
体系コード		事業区分		まちづくり行政事業(全市)			
3-7-62-17-61-1		地域分権区分					
事業内容		住居表示に関する法律の規定により、市区町村は市街地につき区域を定め住居表示を実施しなければならないとされており、本市においても合理的な住居表示の確立により市民生活の便宜を向上させるため、未実施区域において順次計画的に住居表示を実施していく必要があります。このため、未実施地区のうち大鋸・西富地区(約70ha、2,350世帯)の住居表示を第21次事業として実施します。					
活動指標		住居表示実施区域世帯数					
目標値		現状値	89,638	3年後目標値	89,638	6年後目標値	91,992
実績値		H23		H24		H25	
役割期待		市は、事前準備から事業実施まで、市民の意見を聞きながらすべての役割を担います。					
事業スケジュール		第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)		H23	H24	H25			
(地域)		調整	→	実施	→		
事業の成果		1. 郵便物等の誤配・遅配防止により、快適な市民生活の向上が期待できます。 2. 不案内な場所でも目的地に容易に着けることにより、快適な市民生活の向上が期待できます。					
実施主体		藤沢市計画建築部建設指導課				(連絡先) 0466-25-1111	

事業名		北部第二(三地区)土地区画整理事業(特別会計)					
体系コード		事業区分		まちづくり行政事業(全市)			
3-7-62-17-61-2		地域分権区分					
事業内容		安全で快適な地域まちづくりを推進するため、産業と住宅が共存できる土地利用を図り、都市計画道路等の整備推進による交通体系の確立及び公園・下水道等の都市基盤施設の整備により、安全で安心な市街地の形成を図ります。					
活動指標		①都市計画道路整備延長の拡大(石川下土棚線) ②事業区域内下水道普及率の増進					
目標値		現状値	①35%②70%	3年後目標値	①35%②—	6年後目標値	①—②75%
実績値		H23		H24		H25	
役割期待		現道の渋滞緩和に資するため、関係する諸官庁及び権利者との協議を重ねたうえ円滑な整備を行います。公共下水道管の整備により、汲み取り及び浄化槽における雑排水処理の改善を行います。					
事業スケジュール		第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)		H23	H24	H25			
(地域)		実施	→	→	→	→	→
事業の成果		都市計画道路等の整備による交通体系の確立及び区画道路・公園・下水道等の都市基盤施設の整備による豊かな住環境を有す市街地の造成を実現させることとなり、防災・衛生・交通機能等の向上による「安全で安心して暮らせるまち」を形成します。					
実施主体		藤沢市まちづくり推進部北部地区整備事務所				(連絡先) 0466-25-1111	

事業名 市道新設改良事業							
体系コード		事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-62-17-61-3		地域分権区分					
事業内容		安全で快適な地域まちづくりの推進のため、市道の安全性向上を図ります。市民の利便性・安全性の向上及び車両交通の円滑化などの道路環境の快適性向上を図るため、市道の新設や拡幅改良、交差点改良などを行います。また、障がい者をはじめとした歩行者の安全性向上のため、歩道の勾配の緩和や歩道の段差の解消、視覚障がい者誘導用ブロックの設置などのバリアフリー化を行います。					
活動指標		①道路新設及び改良延長(km) ②市道のバリアフリー化延長(km)					
目標値		現状値	①0②0	3年後目標値	①2.5②0.4	6年後目標値	①3.9②1.6
実績値		H23		H24		H25	
役割期待		計画、用地取得、工事発注、工事監理を行います。					
事業スケジュール		第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)		H23	H24	H25			
(地域)							
事業の成果		市民の利便性・安全性向上及び車両交通の円滑化を図るとともに、地区の防災性向上及び災害時の救助活動に寄与します。歩道のバリアフリー化事業を行うことにより、障がい者をはじめとした歩行者が安全で安心して移動できる歩行空間を確保し、誰もが生活しやすいまちづくりを進めます。					
実施主体		藤沢市土木部道路整備課				(連絡先) 0466-25-1111	

事業名 ドッグラン施設整備事業							
体系コード		事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-62-17-61-4		地域分権区分					
事業内容		安全で快適な地域まちづくりの推進を図るため、また動物愛護や適正な飼育の普及のためにも、遊水地の上部や広場などを活用したドッグラン施設の設置を進め動物と共生するまちを目指します。					
活動指標		施設の設置状況					
目標値		現状値	0%	3年後目標値	30%	6年後目標値	60%
実績値		H23		H24		H25	
役割期待		委託及び工事の発注、施工監理を行います。					
事業スケジュール		第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)		H23	H24	H25			
(地域)							
事業の成果		ドッグラン施設の設置により、動物愛護や適正な飼育の普及が図られます。また一般の公園利用者とのすみわけをすることで、公園利用者の安全確保が図られます。					
実施主体		藤沢市まちづくり推進部まちづくりみどり推進課				(連絡先) 0466-25-1111	

事業名 秋葉台公園新設事業							
体系コード		事業区分 まちづくり行政事業(全市)					
3-7-62-17-61-5		地域分権区分					
事業内容		市北部のレクリエーションの拠点とし、野球場、テニスコート、駐車場等の施設整備を行います。事業の実施については、本市の緑とオープンスペースの総合的な計画である藤沢市緑の基本計画における整備の方針に即して行います。					
活動指標		整備進捗率					
目標値		現状値	57.6%	3年後目標値	57.6%	6年後目標値 57.6%	
実績値		H23		H24		H25	
役割期待		関連団体の意見を反映した設計・施工を行います。					
事業スケジュール		第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)		H23	H24	H25			
(地域)							
事業の成果		市民に潤いと安らぎを与える緑豊かなオープンスペースの確保、災害時の避難場所などとしての防災拠点の確保、余暇空間の確保などがはかられ、市民の安全・安心、豊かな生活空間の確保に寄与します。					
実施主体		藤沢市市民自治部市民活動推進課 (連絡先) 0466-25-1111					

事業名 近隣街区公園新設事業							
体系コード		事業区分 まちづくり行政事業(全市)					
3-7-62-17-61-6		地域分権区分					
事業内容		住区基幹公園としての機能及び、災害時の一時避難場所としての役割を果たす公園の整備を進めます。事業の実施については、本市の緑とオープンスペースの総合的な計画である藤沢市緑の基本計画における整備の方針に即して行います。					
活動指標		1人あたり公園整備率(2.5㎡/人)					
目標値		現状値	1.62	3年後目標値	1.66	6年後目標値 1.69	
実績値		H23		H24		H25	
役割期待		設計・施工に際し、市民・地域の意見を十分反映させて行います。					
事業スケジュール		第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)		H23	H24	H25			
(地域)							
事業の成果		地域のコミュニティーの形成の場の確保や、市民に潤いと安らぎを与える緑豊かなオープンスペースの確保、災害時の避難場所などとしての防災拠点の確保、余暇空間の確保などがはかられ、市民の安全・安心、豊かな生活空間の確保に寄与します。					
実施主体		藤沢市まちづくり推進部まちづくりみどり推進課 (連絡先)					

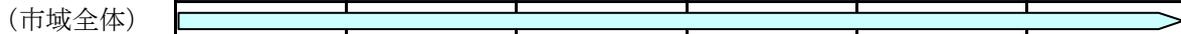
事業名	遠藤宮原線新設事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-62-17-62-1	地域分権区分					
事業内容	「都市形成に資する道路ネットワークの構築」を図るため、湘南台方面から都市拠点「健康と文化の森」地区と御所見地区を結ぶ東西交通を担う幹線道路として、遠藤宮原線を整備します。幅員W=25m、延長L=2,020m					
活動指標	遠藤宮原線の整備率					
目標値	現状値	65%	3年後目標値	100%	6年後目標値	100%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	行政は道路整備を行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
	H23	H24	H25			
	(市域全体)					
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	西北部地域の交通利便性の向上及び周辺生活道路へ流入していた通過交通の集約により、地域住民の安全性の向上が図られます。道路ネットワークの構築を行うことで、湘南台から都市拠点「健康と文化の森」、寒川方面(ツインシティ、さがみ縦貫道)への連絡交通の強化が図られます。					
実施主体	藤沢市まちづくり推進部西北部長後地区整備事務所					(連絡先) 0466-25-1111

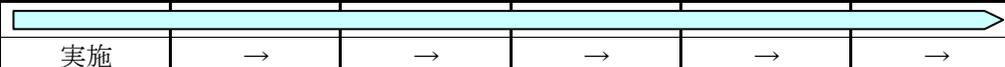
事業名	(仮称)遠藤葛原線新設事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-62-17-62-2	地域分権区分					
事業内容	都市拠点「健康と文化の森」と、新産業の森地区を結ぶ南北軸として、また、既存幹線道路と地域内を連絡する都市内幹線道路として位置付けており、周辺地域との相互交流・連携を促し、西北部地域総合整備マスタープランの重点プロジェクトである新産業の森構想の実現ならびに地域活性化を誘導する路線として整備します。					
活動指標	(仮称)遠藤葛原線・葛原工区の整備率					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	0%	6年後目標値	51%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	行政は道路整備を行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
	H23	H24	H25			
	(市域全体)					
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	都市拠点「健康と文化の森」と新産業の森地区を結ぶ路線を整備することで、地域活力の創造につながります。					
実施主体	藤沢市まちづくり推進部西北部長後地区整備事務所					(連絡先) 0466-25-1111

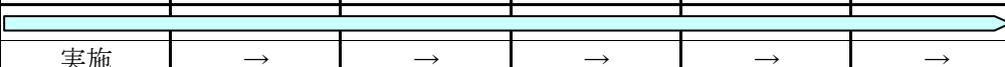
事業名 (仮称)用田丘陵公園線新設事業							
体系コード		事業区分 まちづくり行政事業(全市)					
3-7-62-17-62-3		地域分権区分					
事業内容		「都市形成に資する道路ネットワークの構築」を図るため、御所見中心地区と遠藤宮原線を結ぶ南北軸として、周辺地域との連携強化を担う地区内幹線道路として位置付けている(仮称)用田丘陵公園線を整備します。					
活動指標		(仮称)用田丘陵公園線の整備率					
目標値		現状値	0%	3年後目標値	0%	6年後目標値 0%	
実績値		H23		H24		H25	
役割期待		行政は道路整備を行います。					
事業スケジュール		第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)		H23	H24	H25			
(地域)				実施	→	→	
事業の成果		御所見の中心地区に集中する業務、商業、教育等施設へのアクセス性・安全性の向上が図られます。					
実施主体		藤沢市まちづくり推進部西北部長後地区整備事務所 (連絡先) 0466-25-1111					

事業名 長後地区整備事業							
体系コード		事業区分 まちづくり行政事業(全市)					
3-7-62-17-62-4		地域分権区分					
事業内容		「都市形成に資する道路ネットワークの構築」を図るため、長後駅周辺の交通負荷軽減や都市計画道路の整備及び災害に強いまちづくりを行います。 ○長後駅周辺の交通負荷の軽減(都市計画道路高倉下長後線、西口駅前広場暫定改修) ○長後駅周辺地区の都市計画道路の整備及び災害に強いまちづくり(都市計画道路善行長後線、長後座間線、長後駅西口駅前通線)					
活動指標		整備計画の策定進捗度					
目標値		現状値	0%	3年後目標値	25%	6年後目標値 50%	
実績値		H23		H24		H25	
役割期待		市民との協働により整備計画を策定し、事業を行います。					
事業スケジュール		第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)		H23	H24	H25			
(地域)		実施	→	→	→	→	
事業の成果		長後地区の喫緊の課題である駅周辺の交通渋滞の解消や、災害に強いまちの創造に寄与します。また、近隣都市との交通ネットワークを構築することにより、産業や生活基盤を支える都市構造や都市拠点の再構築にも寄与します。					
実施主体		藤沢市まちづくり推進部西北部長後地区整備事務所 (連絡先) 0466-25-1111					

事業名	主要幹線道路整備促進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-62-17-62-5	地域分権区分					
事業内容	<p>「都市形成に資する道路ネットワークの構築」、都市マスタープラン全体構想の「広域的に連携するネットワークづくり」を図るため広域幹線道路網等の整備を促進します。</p> <p>1. 主要幹線道路整備促進事業 主要幹線道路(国道、県道)の広域交通ネットワークの構築のため、国及び県との事業調整、地元調整、沿道自治体との連携、関係機関への要望活動を行い整備促進を図ります。</p>					
活動指標	完成目標路線数					
目標値	現状値	0	3年後目標値	1路線	6年後目標値	3路線
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	整備促進に向けた国及び県との事業調整、地元調整の役割を担います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
						
(地域)	調整	→	→	→	→	→
事業の成果	本市の高速道路へのアクセスが格段に向上し、都市間の連携強化や、市内に集中している渋滞の緩和が図られ環境改善に繋がります。地域の産業や観光振興に寄与し、特に沿道の土地利用では新たな商産業の発展が期待でき、災害時には、消防・救急活動等の緊急輸送路としての役割も担います。					
実施主体	藤沢市土木部土木経営課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	鶴沼奥田線街路新設事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-62-17-62-6	地域分権区分					
事業内容	<p>「都市形成に資する道路ネットワークの構築」を図るため、安全でくらしやすいまちを支える道路整備事業を実施します。鶴沼奥田線整備事業(第一工区、第三工区)は、主要地方道戸塚茅ヶ崎線、国道467号とともに藤沢駅周辺地区の外郭を環状に形成する路線であり、残る未整備区間約1100mについて、小田急線の西側第一工区から整備を進め、東側第三工区、アンダー部の第二工区整備を順次進めます。</p>					
活動指標	事業用地取得率					
目標値	現状値	18%	3年後目標値	18%	6年後目標値	48%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	都市計画事業施行に伴う用地取得を行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
						
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	藤沢駅周辺地区の外郭が環状に形成され、中心市街地における効率的な移動を可能とするとともに、慢性的な交通混雑が緩和されます。中心市街地の商業活性化といった都心再生に資する都市基盤として機能を発揮するものです。					
実施主体	藤沢市土木部道路整備課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名		石川下土棚線街路新設事業					
体系コード		事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-62-17-62-7		地域分権区分					
事業内容		主要地方道藤沢厚木線を起点に同横浜伊勢原線と交差し、綾瀬市・大和市へと連絡する、広域的な道路ネットワークを形成する事業です。藤沢市北部第二(三地区)土地区画整理事業では、横浜伊勢原線北側区間の完成を平成27年度に予定していることから、綾瀬市都市計画道路並塚笹山線に接続する本市の未整備区間延長約130mについても、綾瀬市と連携して事業化を図り、藤沢厚木線から市道藤沢座間厚木線までのネットワークを構築します。					
活動指標		①事業用地取得率 ②工事延長					
目標値		現状値	—	3年後目標値	①100%②0%	6年後目標値	①100%②100%
実績値		H23		H24		H25	
役割期待		都市計画事業施行に伴う用地取得／街路築造に伴う工事発注、工事監理を行います。					
事業スケジュール		第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)		H23	H24	H25			
(地域)							
事業の成果		藤沢座間厚木線(旧主要地方道)から綾瀬都市計画道路並塚笹山線、本路線を経て藤沢厚木線までの新たな南北方向のネットワークが構築され、現在長後駅周辺に集中する自動車交通の分散化などが期待できます。					
実施主体		藤沢市土木部道路整備課				(連絡先) 0466-25-1111	

事業名		南北線街路新設事業					
体系コード		事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-62-17-62-8		地域分権区分					
事業内容		「都市形成に資する道路ネットワークの構築」を図るため、安心して暮らしやすいまちを支える道路整備事業を実施します。構造的にJR東海道線による市域の南北分断という課題を抱えており、パナソニック工場跡地の土地利用転換の機会を捉え、JR横断路線である本路線を計画することで、南北の地域間連絡を強化し安全で効率的な交流連携に資するものです。					
活動指標		①事業用地取得率 ②工事延長					
目標値		現状値	①0%②—	3年後目標値	①100%②10%	6年後目標値	①100%②100%
実績値		H23		H24		H25	
役割期待		都市計画事業施行に伴う用地取得／街路築造に伴う工事発注、工事監理					
事業スケジュール		第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)		H23	H24	H25			
(地域)							
事業の成果		JR東海道線による南北地区分断の課題への対応を図ります。これにより、効率的な自動車交通環境を実現し、現在踏切を介してJR東海道線の横断を行っている歩行者と自転車の地域間連携が強化されます。					
実施主体		藤沢市土木部道路整備課				(連絡先) 0466-25-1111	

事業名	亀井野二本松線街路新設事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-62-17-62-9	地域分権区分					
事業内容	「都市形成に資する道路ネットワークの構築」を図るため、安心してくらしやすいまちを支える道路整備事業を実施します。県道藤沢平塚線から国道467号線を結ぶ幹線道路として、亀井野二本松線街路新設事業を実施します。					
活動指標	①事業用地取得率 ②工事延長					
目標値	現状値	—	3年後目標値	①0%②0%	6年後目標値	①0%②0%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	都市計画事業施行に伴う用地取得／街路築造に伴う工事発注、工事監理					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	調査・検討	→		発注	工事	→
(地域)						
事業の成果	本路線の整備により、国道467号線から県道藤沢平塚線を結ぶ地区幹線道路として、藤沢市中央部の東西交通ネットワークが確立し、鉄道駅へのアクセス性の向上すると共に、都市計画道路土棚石川線及び高倉遠藤線の交通負荷を軽減することができます。					
実施主体	藤沢市土木部道路整備課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	長後駅東口通り線街路新設事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-62-17-62-10	地域分権区分					
事業内容	「都市形成に資する道路ネットワークの構築」を図るため、安心してくらしやすいまちを支える道路整備事業を実施します。長後東部地区は狭小道路が多く利便性に欠けているため、小田急線長後駅から県道横浜伊勢原線までの区間として、長後駅東口駅前通り線街路新設事業を実施します。					
活動指標	①事業用地取得率 ②工事延長					
目標値	現状値	—	3年後目標値	①0%②0%	6年後目標値	①0%②0%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	都市計画事業施行に伴う用地取得／街路築造に伴う工事発注、工事監理を行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	調査・検討	→		発注	工事	→
(地域)						
事業の成果	小田急線長後駅から国道467号線までは整備済みで、本路線の整備により、鉄道駅へのアクセス性が向上すると共に、歩行者の安全性の確保や災害時の避難路、緊急活動への寄与など防災機能の向上を図ることができます。					
実施主体	藤沢市土木部道路整備課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	藤沢石川線(長銀団地)街路新設事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-62-17-62-11	地域分権区分					
事業内容	「都市形成に資する道路ネットワークの構築」を図るため、安心して暮らしやすいまちを支える道路整備事業を実施します。藤沢地区と善行地区及び大庭地区を結ぶ幹線道路として、藤沢石川線(長銀団地)街路新設事業を実施します。					
活動指標	①事業用地取得率 ②工事延長					
目標値	現状値	—	3年後目標値	①0%②0%	6年後目標値	①0%②0%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	都市計画事業施行に伴う用地取得／街路築造に伴う工事発注、工事監理					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	調査・検討	→		発注	工事	→
(地域)						
事業の成果	石名坂立石線交差点から県道藤沢厚木線は整備済みで、本路線の整備により、都市交通ネットワークが充実され、大庭地区(ライフタウン)から小田急線藤沢本町、善行駅へのアクセス性の向上がすると共に、歩行者の安全性の確保を図ることができます。					
実施主体	藤沢市土木部道路整備課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	善行長後線(六会工区)街路新設事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-62-17-62-12	地域分権区分					
事業内容	「都市形成に資する道路ネットワークの構築」を図るため、安心して暮らしやすいまちを支える道路整備事業を実施します。小田急線善行駅から湘南台駅を結ぶ幹線道路として、善行長後線(六会工区)街路新設事業を実施します。					
活動指標	①事業用地取得率②工事延長					
目標値	現状値	—	3年後目標値	①100%②100%	6年後目標値	①100%②100%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	都市計画事業施行に伴う用地取得／街路築造に伴う工事発注、工事監理					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	実施	→	→	→	→	→
(地域)						
事業の成果	小田急線善行駅から県道菖蒲沢戸塚線及び北部区画整理区域内は整備済みで、本路線の整備により、小田急線善行駅から湘南台駅を結び、鉄道駅へのアクセス性が向上すると共に、歩行者の安全性の確保、国道467号線の交通の分散化を図ることができます。					
実施主体	藤沢市土木部道路整備課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	辻堂駅周辺地域都市再生事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-62-17-63-1	地域分権区分					
事業内容	<p>・JR辻堂駅改良事業 平成19年度から平成23年度までの5ヶ年継続事業として、本屋口自由通路・西口跨線橋改良、本屋口・西口駅舎改良、ホーム拡幅改良等の整備を行います。</p> <p>・明治13号線道路拡幅改良事業(道路延長:90.6m 道路幅員:6.0m) 土地区画整理事業区域外の東側外周道路(明治13号線)の一部区間において、ボトルネックとなっている狭隘な道路の拡幅改良を行います。</p>					
活動指標	①まちづくり形成進捗度 ②JR辻堂駅改良事業事業進捗度					
目標値	現状値	①85.3%②66%	3年後目標値	①100%②100%	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	都市基盤施設の整備、進出事業者の施設建設に対する土地利用計画・デザイン誘導について役割を担います。工事の進捗に対する調整及び管理について役割を担います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
	H23	H24	H25			
	(市域全体)					
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	都市基盤施設の完成が近づき、進出事業者による施設建設も進められ、地区全体で調和のとれた魅力ある街並みの形成、活気と活力に満ちた多様な機能が集積する新たな都市拠点としての再生が図られています。					
実施主体	藤沢市計画建築部建設総務課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	辻堂駅南口立体横断施設整備事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-62-17-63-2	地域分権区分					
事業内容	辻堂駅周辺地域において、都市再生緊急整備地域の地域整備方針やまちづくり方針に沿って、駅南北の回遊性を確保する歩行者ネットワークの構築、及び歩行者の安全性の向上や交通の円滑化を図る目的で、南北自由通路と民間再開発ビルを結ぶデッキ等の整備を行います。					
活動指標	事業進捗度					
目標値	現状値	10%	3年後目標値	100%	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	辻堂駅南口デッキの整備について役割を担います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
	H23	H24	H25			
	(市域全体)					
(地域)	実施	→	→			
事業の成果	デッキを整備することで、辻堂駅南口駅前広場中央にある横断歩道を廃止し、歩行者の安全性の向上及び交通の円滑化、駅南北交流軸の強化が図られ、既存商店街の活性化にも繋げることができると見込まれます。					
実施主体	藤沢市計画建設部建設総務課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	辻堂駅南口駅前広場改良事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-62-17-63-3	地域分権区分					
事業内容	平成20年度に辻堂駅南口再整備計画の策定、同再整備計画に基づき、平成21年度に基本・実施設計を行い、辻堂駅南口立体横断施設(南口デッキ)と併せて、一体的な駅前広場の整備を行います。					
活動指標	①交通管理者・交通事業者協議進捗度 ②事業進捗度					
目標値	現状値	①5%②5%	3年後目標値	①100%100%	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	工事の施行に伴う交通管理者、交通事業者及び道路管理者との協議について役割を担います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
	H23	H24	H25			
	(市域全体)					
(地域)	実施	→	→			
事業の成果	辻堂駅南口デッキと一体的に整備することで、歩行者の安全性の向上及び交通の円滑化、駅南北交流軸の強化が図られ、既存商店街の活性化にも繋げることができます。					
実施主体	藤沢市計画建設部建設総務課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	村岡地区都市拠点総合整備事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-62-17-63-4	地域分権区分					
事業内容	「都心の活動を創生する都市機能の再構築の推進」と、都市マスタープランの都市づくり基本方針の「広域的に連携するネットワークづくりの広域交通体系の整備」を図るため、神奈川県と鎌倉市と広域連携を図りながら、村岡新駅の設置と駅前広場、シンボル道路などの都市基盤整備や新駅周辺にふさわしい土地利用転換による生活利便施設、研究開発・業務施設の集積を進めるとともに、新駅の周辺地域では住環境の保全・向上を進め、新しい拠点の形成を目指します。					
活動指標	整備計画・事業計画の策定進捗度					
目標値	現状値	40%	3年後目標値	60%	6年後目標値	100%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	行政は、県、鎌倉市との広域連携による整備計画、事業計画の策定についての役割を担います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
	H23	H24	H25			
	(市域全体)					
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	公共交通の利便性の向上、藤沢駅周辺に集中する交通混雑の緩和、村岡地区の交通利便性向上、CO2削減など環境負荷の軽減、地域経済の活性化、次世代の暮らしを支える新たな拠点の形成に成果をもたらします。					
実施主体	藤沢市まちづくり推進部村岡地区整備事務所					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	藤沢北口駅前地区整備事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-62-17-63-5	地域分権区分					
事業内容	<p>「都心の活動を創生する都市機能の再構築の推進」に資するため、都市拠点として相応しい藤沢北口駅前地区の都市基盤整備を実施し、周辺地域のまちづくりを誘導します。</p> <p>1. 藤沢北口駅前地区整備事業</p> <p>平成18年度に地区内地権者や関係企業と共にまとめた整備計画に基づき、藤沢北口駅前地区において、藤沢駅北口通り線(L=240m・W=13m)、藤沢駅北口東西線(L=100m・W=13m)、市道藤沢83号線(L=27m・W=8m)の3路線の道路整備を行うと共に、周辺地域のまちづくを誘導していきます。</p>					
活動指標	来街者数(人/日)					
目標値	現状値	360,000	3年後目標値	360,000	6年後目標値	370,000
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	整備計画に沿った地区内の都市基盤整備とまちづくりを誘導します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
	H23	H24	H25			
	(市域全体)					
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	藤沢駅北口通り線他2路線の整備を行うことにより、駅直近の商業地に相応しい街区形成がなされ、産業、経済の振興と防災力の強化が図られます。					
実施主体	藤沢市まちづくり推進部藤沢駅周辺地区整備担当 (連絡先) 0466-25-1111					

事業名	藤沢駅周辺まちづくり計画策定事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-62-17-63-6	地域分権区分					
事業内容	<p>「都心の活動を創生する都市機能の再構築の推進」に資するため、都市拠点として相応しい藤沢駅周辺地区の再整備構想を策定し周辺地域のまちづくりを誘導します。</p> <p>藤沢駅周辺地区における市街地の活性化及び交通結節点の機能更新を核とした都市機能更新を図るため、中長期的視点で藤沢駅周辺地区再整備構想(基本構想及び基本計画)を策定の上、具体的な整備計画を立案します。</p>					
活動指標	来街者数(人/日)					
目標値	現状値	360,000	3年後目標値	360,000	6年後目標値	396,000
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	都市基盤整備の充実とまちづくりの誘導を行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
	H23	H24	H25			
	(市域全体)					
(地域)	調査・設計	→	→	実施	→	→
事業の成果	藤沢駅周辺地区再整備構想検討委員会では、地域の声や鉄道事業者を中心に連携・協働しながら計画策定を進めます。					
実施主体	藤沢市まちづくり推進部藤沢駅周辺地区整備担当 (連絡先) 0466-25-1111					

ふじさわ未来課題

63 地域の人材が働ける機会を創造すること

～まちづくり情報～

- ① 藤沢市の昼夜間人口比率は、94.9%となっています。1日の流出入人口をみると、市民の約26%は、昼間、通勤・通学等で市外に流出しています。そのうち、約30%は、東京への通勤・通学者です。一方、昼間人口の約22%、市外からの通勤・通学者で、市内へ流入しています。
- ② 藤沢公共職業安定所管内の有効求人倍率は、2010年（平成22年）8月に0.29倍となっており、全国、県内と比較して低い状況です。
- ③ 派遣労働者、ニート、フリーターの増加が近年社会問題化しています。
- ④ 県内の民間企業（常用労働者数56人以上規模の企業、2008年6月調査）の障害者実雇用率は07年より0.04ポイント上昇し、1.49%となりました。同じく法定雇用率を達成している企業の割合は、1.8ポイント上昇して、43%となりました。障害者の雇用状況は、改善の方向にあります。しかし法定雇用率1.8%に比べると0.31ポイントの隔たりがあり、取り組みの強化が求められています。



この「ふじさわ未来課題」に関連する事業

【まちづくり市民連携事業】

市内の企業では、次のような取り組みが行なわれています。（藤沢市商業振興の規定による地域貢献計画より）

- ① 障がい者雇用の促進 ルームズ大正堂つじどう店、ミスターマックス湘南藤沢ショッピングセンター、パシオス藤沢店、株式会社ダイエー湘南台店、株式会社ヴィクトリア湘南台店、オーケーディスカウントセンター藤沢店、イトーヨーカドー藤沢店、CDビル・ダイヤモンドビル・フジサワ名店ビル
- ② 高齢者雇用の促進 ルームズ大正堂つじどう店、ミスターマックス湘南藤沢ショッピングセンター、パシオス藤沢店、スーパーセンタートライアル藤沢羽鳥店、湘南台ウエストプラザ、オーケーディスカウントセンター藤沢店、イトーヨーカドー藤沢店・湘南台店、FUJI 鶴沼店・善行店、CDビル・ダイヤモンドビル・フジサワ名店ビル、株式会社さいか屋藤沢店、イオン株式会社ジャスコ藤沢店、株式会社ヨークマート六会店、ホテル法華クラブ藤沢

【戦略目標】

18 地域の人材を活かした雇用機会を創出するまち

【成果指標】

- ① 有効求人倍率
- ② 新たな産業集積と雇用の創出に満足している人の割合

【現状値】 ①0.35 ②10%

【めざそう値】 3年後：①0.88 ②15% 6年後：①1.10 ②30%

【役割の担い手】 ①A:12% B:12% C:9% D:27% E:14% F:24% G:2%



②A:13% B:16% C:8% D:25% E:10% F:25% G:3%



政策と政策評価のための主要な指標

事業から生じる効果を測定するための主要な指標を示します。

《政策－64》 多様化した市民ニーズに対応する就労支援事業の推進

＜成果の視点＞ 若者から高齢者まで、ニーズに沿った働きのあること

〔主要な指標〕 新たな産業集積と雇用の創出に満足している人の割合（20歳～30歳代）

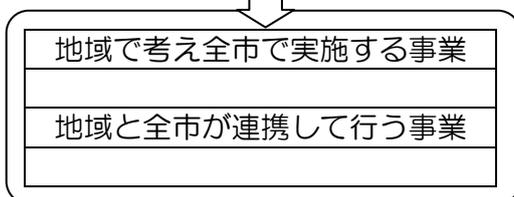
《政策－65》 障がい者等の自立支援の推進

＜成果の視点＞ 障がい者にとって働きやすさと働きがいのある職場があること

〔主要な指標〕 障害者実雇用率

戦略目標に関するまちづくり事業の状況

まちづくり 地域事業	まちづくり 行政事業 (地区)	まちづくり 行政事業 (全市)	まちづくり 市民連携 事業	まちづくり 公民連携 事業	まちづくり 広域連携 事業



事業名	就労支援事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)					
3-7-62-18-64-1	地域分権区分						
事業内容	ハローワークを補完し、市内の求職者に対し、より一層丁寧な相談を行い、就労の長期定着を図るとともに、市内企業に求職者を紹介することで、労働力を確保し、市内産業の活性化を図ります。平成25年度には、(仮称)JOBカフェ藤沢と一体化します。また、ハローワーク藤沢管内の3市1町で広域連携を図り、ハローワーク藤沢、商工会議所、商工会と連携し、短時間で効率的な就職機会と人材発掘の場を提供する求職・求人支援事業を実施します。 1 無料職業紹介事業(藤沢しごと相談システム) 2 若年者雇用対策事業 3 湘南就職面接会:						
	活動指標	①若年者雇用対策事業カウンセリング回数(回) ②湘南就職面接会における面接回数(回)					
	目標値	現状値	①93②382	3年後目標値	①1,872②390	6年後目標値	①1,700②390
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待	無料職業紹介事業におけるマッチング及び職業紹介部門との連携について、調整管理を行います。また、若者サポートステーション等関係機関との連携についての調整管理を行います。湘南面接会の企画及び関係機関との調整を行う役割を担います。						
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	(市域全体)	→					
	実施	→	→	→	→	→	
(地域)							
事業の成果	雇用のアンマッチが解消され、就労の長期定着及び就職率の改善が図られます。総合的な就労支援を行います。ニート・フリーターを含めた若年者就労に関するワンストップサービスの実施を図ります。						
実施主体	藤沢市経済部勤労市民課					(連絡先) 0466-25-1111	

事業名	障がい者就労関係事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)					
3-7-62-18-65-1	地域分権区分						
事業内容	事業所及び市民に対し障がい者雇用についての理解と協力の促進を図ります。 ①.「障害者合同面接会」 ②.「障がい者雇用促進事業訪問」 ③.「障がい者雇用促進街頭キャンペーン」(拡大) ④.「障がい者雇用優良事業所・障がい者支援優良事業所感謝状贈呈式」(拡大) ⑤.「湘南地区障害者卓球大会」 ⑥. 就職支援セミナー						
	活動指標	①障害者合同面接会採用決定者数(人) ②障がい者雇用促進事業訪問事業所数					
	目標値	現状値	①20②15	3年後目標値	①22②16	6年後目標値	①24②17
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待	事業所に対しての参加促進、求職者への事前周知、当日の運営に携わります。藤沢公共職業安定所、市障害福祉課とともに市内事業所を訪問し、障がい者の雇用促進と定着に向けた要請を行います。						
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	(市域全体)	→					
	実施	→	→	→	→	→	
(地域)							
事業の成果	障がい者の求人を予定する事業主と、就職を希望する障がい者の出会いの場を提供することで、雇用の促進が図られます。障がい者の雇用促進と定着に向けた要請を随時行うことによって、雇用状況の改善が図られます。						
実施主体	藤沢市経済部勤労市民課					(連絡先) 0466-25-1111	

事業名	障がい者就労支援事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)					
3-7-62-18-65-2	地域分権区分						
事業内容	1. 湘南地域就労援助センター助成事業 障がい者就労に向けての企業開拓、就職希望の障がい者への就労支援、在職中の障がい者への職場定着支援等を行っている湘南地域就労援助センターへの運営費助成(県市の協調事業)を実施します。 2. 福祉的就労協力事業所助成事業 福祉的就労協力事業所へ福祉的就労者数に応じた助成を実施します。						
	活動指標	湘南地域就労援助センター就労者数					
	目標値	現状値	141人	3年後目標値	180人	6年後目標値	210人
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待	企業訪問の実施と就労支援ネットワークへの参画、センターへの運営費助成を行います。						
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	(市域全体)						
(地域)	実施	→	→	→	→	→	
事業の成果	障がい者就労に向けての企業開拓、就職希望の障がい者への就労支援、在職中の障がい者への職場定着支援を行うことで、障がい者雇用の促進が図られます。						
実施主体	藤沢市保健福祉部障害福祉課					(連絡先) 0466-25-1111	

事業名							
体系コード	事業区分						
	地域分権区分						
事業内容							
	活動指標						
	目標値	現状値		3年後目標値		6年後目標値	
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待							
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	(市域全体)						
(地域)							
事業の成果							
実施主体						(連絡先)	

【戦略目標】

19 多様な地域資源を活かした観光立市のまち

【成果指標】

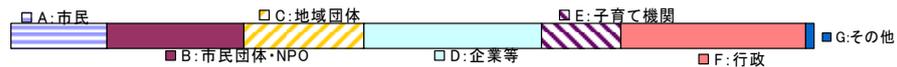
① 江の島や湘南海岸の観光地としての魅力に満足している人の割合

② 藤沢市観光客数

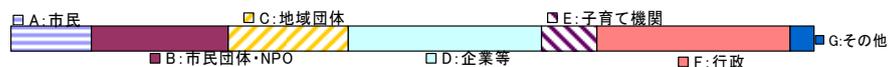
【現状値】 ①34% ②963万人

【めざそう値】 3年後：①40% ②980万人 6年後：①50% ②1,000万人

【役割の担い手】 ①A:12% B:17% C:15% D:22% E:10% F:23% G:1%



②A:10% B:17% C:15% D:24% E:7% F:24% G:3%



政策と政策評価のための主要な指標

事業から生じる効果を測定するための主要な指標を示します。

《政策-66》 新たな観光資源の開発と外国人誘客による、地域活性化の推進

＜成果の視点＞ 観光の魅力を高め、国内外からの観光者が訪れていること

〔主要な指標〕 外国からの来藤観光客数

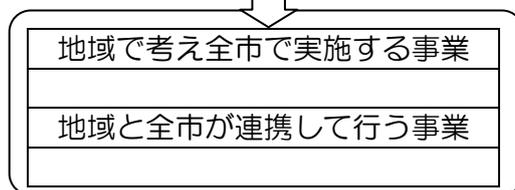
《政策-67》 多様な地域資源を活かした、観光立市のまちづくりの推進

＜成果の視点＞ 観光を起点とした活気あるまちであること

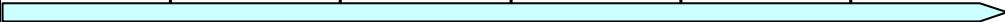
〔主要な指標〕 片瀬江の島観光案内所の利用者数

戦略目標に関するまちづくり事業の状況

まちづくり 地域事業	まちづくり 行政事業 (地区)	まちづくり 行政事業 (全市)	まちづくり 市民連携 事業	まちづくり 公民連携 事業	まちづくり 広域連携 事業



事業名	誘客宣伝事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-62-19-66-1	地域分権区分					
事業内容	<p>1. 観光宣伝事業:海外誘客事業、観光親善大使事業、江の島大島観光振興事業、北部観光振興事業、観光キャラバン事業、観光マップ作成事業、宝探し事業、観光ホームページ、海と山との市民交歓会開催等による観光宣伝等を実施します。</p> <p>2. 観光イベントへの支援:湘南・江の島手づくりボートレース、地域観光振興事業、新春江の島歴史散歩事業を実施します。</p> <p>3. 観光振興計画に掲げる新規及び拡充事業:湘南C-Xの活用促進の研究(大型商業施設の活用・医療ツーリズムの推進)、藤沢宿の活用促進の研究、携帯電話を活用した情報発信など実施します。</p>					
活動指標	年間宿泊者数					
目標値	現状値	362,000人	3年後目標値	366,000人	6年後目標値	388,000人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	宿泊客が増加するための魅力ある観光地へと導く仕組みづくりを行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
	H23	H24	H25			
	(市域全体)					
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	観光資源の有効活用と地域の特性を活かした観光事業により魅力ある観光地へと繋がり、観光客の増加による地域の活性化が図られます。また、各分野における専門団体等様々な主体による観光イベントへの支援により、効果的に観光客誘致を図ることができます。					
実施主体	藤沢市経済部観光課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	湘南藤沢フィルム・コミッション事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-62-19-67-1	地域分権区分					
事業内容	<p>1. 本市が舞台となる映像作品の誘致:映画、テレビドラマや情報番組(旅番組ほか)の撮影場所を紹介し、円滑にロケができればロケ支援活動による誘致活動を実施します。</p> <p>2. フィルム・コミッション事業から新たな観光振興及びシティセールス:消費観光による地域経済の活性化を図るために積極的なメディア戦略により観光資源や観光商品を効率的に国内外に向けて情報発信します。</p> <p>3. フィルム・コミッションフォーラムの開催やHP等の充実:「ロケのしやすい街」として更なる誘致につなげるための支援体制の拡大と事業への理解を深める市民啓発を図ります。</p>					
活動指標	間接的経済効果					
目標値	現状値	91億円	3年後目標値	100億円	6年後目標値	110億円
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	受託者との調整について役割を担います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
	H23	H24	H25			
	(市域全体)					
(地域)	実施	→	→	活用	→	→
事業の成果	ロケ隊による直接的経済効果が毎年約3,000万円あり、地域活性化に寄与しています。CM広告料に換算すると年間約90億円分の映像発信が図られ、観光誘客につながっています。					
実施主体	藤沢市経済部観光課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名 観光施設整備事業							
体系コード		事業区分 まちづくり行政事業(全市)					
3-7-62-19-67-2		地域分権区分					
事業内容 観光施設の整備を行うことで、観光客の利便性の向上を図り、魅力ある観光地として誘客を推進します。							
活動指標 年間観光客数(海水浴客除く)							
目標値		現状値	9,600千人	3年後目標値	10,400千人	6年後目標値	10,700千人
実績値		H23		H24		H25	
役割期待		観光施設の整備及び維持管理について役割を担います。					
事業スケジュール							
		第1期			第2期	第3期	第4期
		H23	H24	H25			
(市域全体)							
		実施	→	→	→		
(地域)							
事業の成果 観光施設の整備及び維持管理の実施を行うことで、観光地における観光客の利便性の向上及び市民サービスの向上により誘客が図られます。							
実施主体 藤沢市経済部観光課 (連絡先) 0466-25-1111							

事業名 通年型観光推進事業							
体系コード		事業区分 まちづくり行政事業(全市)					
3-7-62-19-67-3		地域分権区分					
事業内容 夏の海水浴シーズだけではなく秋・冬・春のシーズンにも誘客イベントを実施します。また、新たに花、富士見スポット、農園・果樹園等の地域資源を活用した誘客事業や、観光産業を牽引している女性をターゲットとした観光プログラムを開発することで、通年型の観光地づくりを実施し、本市の観光客数の増加傾向を継続させます。							
活動指標 ①展望灯台ライトアップ1日当たりの参加者数(人) ②新規・拡充事業の実施数(事業)							
目標値		現状値	①6,000②3	3年後目標値	①6,150②7	6年後目標値	①6,300②7
実績値		H23		H24		H25	
役割期待		行政間の調整、事業周知・PRを行います。また、近隣自治体、民間事業者、地域等との連携推進、事業周知・PRも行います。					
事業スケジュール							
		第1期			第2期	第3期	第4期
		H23	H24	H25			
(市域全体)							
		実施	→	→	→	→	→
(地域)							
事業の成果 江ノ電との連携による江ノ電沿線から江の島まで一体的なライトアップ効果で一層の誘客を図ります。日本夜景遺産に登録された展望灯台などを活用し、夜景効果によるイメージアップを図ります。通年型の質の高い観光地化を促進し、リピーターを増やします。							
実施主体 藤沢市経済部観光課 (連絡先) 0466-25-1111							

事業名 海上観光活性化事業							
体系コード		事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-62-19-67-4		地域分権区分					
事業内容		<p>「多様な地域資源を活かした、観光立市のまちづくりの推進」と観光振興計画の基本方針1「藤沢の観光魅力づくり」、基本方針4「観光客を迎えるおもてなしの体制づくり」の戦略と位置づけ、海上交通を活用した新たな観光ルート(資源)の開発を推進します。海上交通の実施・運営に関しては、民間海上交通事業者が主体として実施します。</p> <p>1. 東京湾・相模湾クルージング事業 2. 江の島周辺海上交通推進事業</p>					
活動指標		海上観光ルート数					
目標値		現状値	1	3年後目標値	2	6年後目標値	3
実績値		H23		H24		H25	
役割期待		企画、広報支援等について役割を担います。					
事業スケジュール		第1期			第2期	第3期	第4期
		H23	H24	H25			
(市域全体)		----->			----->		
(地域)		検討	→	→	実施	→	→
事業の成果		都市間の相互交流での観光客誘致が図られます。クルージング事業の実施に伴い、地場産業を活用した事業展開に結びつけることで、地域の活性化に寄与します。また、事業実施については、民間海上交通事業者が行うため民間力の活用が図られます。					
実施主体		藤沢市経済部観光課 (連絡先) 0466-25-1111					

事業名 観光拠点施設推進事業							
体系コード		事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-62-19-67-5		地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)				
事業内容		<p>湘南海岸における観光機能、休憩機能、情報発信機能、地域連携機能と付帯機能としてマリン・ビーチスポーツ機能をもつ施設を活用し、観光客の滞在時間の延長や消費行動に結びつける際の中心的役割を果たす観光拠点施設の推進を図ります。</p>					
活動指標		観光拠点施設の整備進捗度					
目標値		現状値	—	3年後目標値	—	6年後目標値	—
実績値		H23		H24		H25	
役割期待		観光拠点施設の推進を図るため、地域、企業、NPO・市民団体と連携します。					
事業スケジュール		第1期			第2期	第3期	第4期
		H23	H24	H25			
(市域全体)		----->			----->		
(地域)		活用検討	→	→	→	→	→
事業の成果		南部の観光拠点施設として、観光情報発信や地産地消等の地域連携機能を持つ施設の設置により、回遊性を高めるとともに消費観光につなげることで地域の活性化が図られます。					
実施主体		藤沢市経済部観光課 (連絡先) 0466-25-1111					

事業名	セーリング体験ツアー事業					
体系コード	事業区分	まちづくり市民連携事業				
3-7-61-19-67-6	地域分権区分					
事業内容	市内宿泊とセーリングをセットにしたツアーを実施します。					
活動指標						
目標値	現状値	—	3年後目標値	—	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市観光協会と連携しています。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
	H23	H24	H25			
	(市域全体)					
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	「多様な地域資源を活かした、観光立市のまちづくり」に寄与します。					
実施主体	NPO湘南港マリンセンター					(連絡先) 0466-35-8576

事業名						
体系コード	事業区分					
	地域分権区分					
事業内容						
活動指標						
目標値	現状値		3年後目標値		6年後目標値	
実績値	H23		H24		H25	
役割期待						
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
	H23	H24	H25			
	(市域全体)					
(地域)						
事業の成果						
実施主体						(連絡先)

都市ビジョン3 さらなる可能性を追求する創造発信都市

藤沢づくりのめざす方向性

8 公共資産の維持管理と有効活用

公有地等の公共的な保有資産の積極的な活用とともに、公共施設の集約・移転等により生じる跡地、施設の有効活用、地域ニーズに合った資産を活用します。そのためには、公共施設・都市基盤施設の老朽化の時期を見据えて、既存施設の保全、再構築、機能更新等、社会資本の有効活用と長寿命化をめざします。

ふじさわ未来課題

71 多様な連携を通じて、市民が望むサービスが提供されていること

～まちづくり情報～

- ① 藤沢市と茅ヶ崎市、寒川町は、1962年（昭和37年）から任意の協議会として「湘南広域都市行政協議会」を設立し、様々な活動を行ってきました。2009年（平成21年）には、常設事務局を設置し、協議会の運営体制について検討した結果、基盤強化を図るため2010年（平成22年）4月に地方自治法252条2に基づく法定協議会をとって「湘南広域都市行政協議会」を設立しました。住民サービスの向上、地域の活性化、行政の合理化、能率化を目指し、積極的な活動を進めています。
- ② 神奈川県と平塚市、伊勢原市、秦野市、茅ヶ崎市、藤沢市、二宮町、大磯町、寒川町の5市3町は、広域での課題を調査研究しまた解決の方法を探るため、湘南地区市町連絡協議会を設置し、活動しています。
- ③ 藤沢市は特定の課題について、より効果的な解決を図るため、鎌倉市、綾瀬市、大和市、南足柄市などと連携した活動を行っています。



【戦略目標】

20 多様な主体が広域連携するまち

【成果指標】

① 近隣市町との連携と協力による広域行政運営の推進への満足度

【現状値】 ①15%

【めざそう値】 3年後：①20% 6年後：①30%

【役割の担い手】 ①A:10% B:18% C:16% D:17% E:13% F:25% G:1%



政策と政策評価のための主要な指標

事業から生じる効果を測定するための主要な指標を示します。

《政策－68》 湘南広域都市行政協議会における広域行政の推進

＜成果の視点＞ 法定協議会の仕組みを通じた連携・協力によって、広域行政サービスや地域活性化につなげていくこと

〔主要な指標〕 湘南広域都市行政協議会の年間事業参加者数

《政策－69》 近隣市との都市連携の推進

＜成果の視点＞ 藤沢市と鎌倉市、綾瀬市、大和市、海老名市との都市連携を通じて、共通する行政課題を解決して、広域行政サービスや地域活性化につなげていくこと

〔主要な指標〕 広域行政課題の検討数

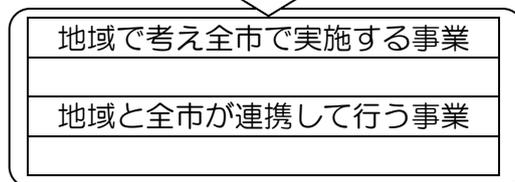
《政策－70》 市域を越えた活動主体間の連携のしくみづくりの推進

＜成果の視点＞ 行政だけでなく、市民、市民ボランティア、NPO、大学、企業等が市域を越えてさまざまな連携をおこなうこと

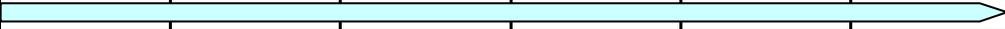
〔主要な指標〕 藤沢市と南足柄市の市民交流事業参加者数

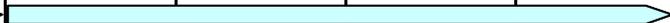
戦略目標に関するまちづくり事業の状況

まちづくり 地域事業	まちづくり 行政事業 (地区)	まちづくり 行政事業 (全市)	まちづくり 市民連携 事業	まちづくり 公民連携 事業	まちづくり 広域連携 事業



事業名	パスポートセンター開設・運営事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-8-71-20-68-1	地域分権区分					
事業内容	住民サービスの向上を図るための広域連携施策として、藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町の2市1町において、県から旅券事務の権限移譲をうけ実施します。 ・H23年度 県から権限移譲 開設準備 ・H24年度 開設・運営開始予定					
活動指標	2市1町のパスポート取得者の流出率					
目標値	現状値	100%	3年後目標値	5%	6年後目標値	0%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	権限移譲に向けた県との連絡調整及び権限移譲を行います。パスポート発給業務を運営します。					
事業スケジュール (市域全体)	第1期			第2期	第3期	第4期
	H23	H24	H25			
						
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	広域連携の成果として、住民サービスの向上が図られると同時に、県・市業務の効率化が進みます。					
実施主体	藤沢市経営企画部経営企画課					(連絡先) 0466-25-

事業名	広域連携展示事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-8-71-20-68-2	地域分権区分					
事業内容	茅ヶ崎市美術館を利用して、共同作業による展示会を年1回程度、二市一町間で実行委員会を作って開催します。					
活動指標	展示会1日平均入場者数					
目標値	現状値	58人	3年後目標値	80人	6年後目標値	100人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	広域行政による多様な都市活動の支援のしくみづくりの一つとして事業を推進します。					
事業スケジュール (市域全体)	第1期			第2期	第3期	第4期
	H23	H24	H25			
						
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	広域連携により事業を実施することで、相互の資源の有効活用による幅広い公開活用事業の展開を図ることができ、それにより市民へ多様な公開を行うことができます。					
実施主体	藤沢市教育委員会生涯学習部生涯学習課					(連絡先) 0466-25-

事業名	広域行政推進関係事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-8-71-20-69-1	地域分権区分					
事業内容	自治体個々では限界のある都市基盤、広域交通ネットワークやそれを活用した新産業の創出、経済、観光、緑地保全、防災等の共通する課題について、本市と近隣市、神奈川県が連携して効率的かつ効果的な広域的市民サービスの向上や地域の活性化を推進します。湘南広域都市行政協議会、湘南市町連絡協議会等を通じた広域行政課題の解決に向け、県からの権限移譲を見据えながら連絡調整、広域行政等に係る調査研究を行います。					
活動指標	都市連携協定事業の数					
目標値	現状値	0	3年後目標値	1	6年後目標値	3
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は広域的なサービスにより効率、効果を向上させるため市民、地域と協働、連携しながら主体的に活動します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	----->					
(地域)	検討・調整	→	方針決定	活用	→	→
事業の成果	本市と近隣市、神奈川県が連携して効率的かつ効果的な広域的市民サービスの向上や地域の活性化の推進に寄与します。					
実施主体	藤沢市経営企画部経営企画課			(連絡先) 0466-25-		

事業名	中小企業勤労者福祉サービスセンター事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-8-71-20-69-2	地域分権区分					
事業内容	中小企業事業主と市が連携し、勤労者福祉サービスセンター事業(中小企業従業員等福利共済事業)を充実・発展させます。県内の勤労者福祉共済実施自治体・団体等との連携を強化し共同事業の充実を図るとともに、勤労者福祉サービスセンター未設置の近隣市町との新たな連携により勤労者福祉サービスセンターの広域化を推進し、多様な連携を通じた勤労者向けサービスの向上をめざします。					
活動指標	会員数の拡大					
目標値	現状値	7,100人	3年後目標値	9,000人	6年後目標値	10,000人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	管理的経費に対する助成、制度のPR、神奈川県・近隣市町との連携の推進などについての役割を担います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
						
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	広域連携の推進によるスケールメリットを活かした運営を行い、会員サービスの充実を図り、会員数を拡大します。中小企業が独自に行うことが難しい福利共済事業を拡大することによって、中小企業勤労者の福祉の向上、従業員の定着化、中小企業の経営安定に寄与します。					
実施主体	藤沢市経済部産業振興課			(連絡先) 0466-25-		

事業名	南足柄市連携事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-8-71-20-70-1	地域分権区分					
事業内容	<p>広域交通ネットワークや経済、観光等の課題について、県内の市町村との広域連携によって広域的市民サービス機能の向上や都市間交流を推進します。具体的には、旧南足柄中学校を活用した学習体験交流や本市の遊行の盆と南足柄市の金太郎祭への相互参加などを踏まえた文化交流、市民交流の推進を図ります。</p>					
活動指標	跡地活用等に向けた調査・研究の数					
目標値	現状値	0	3年後目標値	1	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	<p>行政は学習体験交流の調査研究を行い、関係機関との調整をする役割を担います。また、実施にあたっては、市民との協働により、市民交流の場としての役割も機能するように主体的に活動します。</p>					
事業スケジュール (市域全体)	第1期			第2期	第3期	第4期
	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	<p>学習体験交流を行うことにより、県内郷土の愛着心を育み、親子自然体験や学習体験が実現できます。両市の祭、イベントへの相互参加を図ることにより、市民レベルでの文化交流が実現できます。</p>					
実施主体	藤沢市経営企画部経営企画課					(連絡先) 0466-25-

ふじさわ未来課題

67 移動や利用にあたり、誰でも利用できる道路や施設であること

～まちづくり情報～

- ① 国土交通省では、「どこでも、だれでも、自由に、使いやすく」というユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、今後、身体的状況、年齢、国籍などを問わず、可能な限り全ての人が、人格と個性を尊重され、自由に社会に参画し、いきいきと安全で豊かに暮らせるよう、生活環境や連続した移動環境をハード・ソフトの両面から継続して整備・改善していくという理念に基づき国土交通行政を推進するため、2005年（平成17年）に「ユニバーサルデザイン政策大綱」を策定しています。
- ② 藤沢市では、2002年（平成14年）に「藤沢市交通バリアフリー化基本構想」を定め、重点整備地区の特定経路から順次バリアフリー化の整備を進めています。



この「ふじさわ未来課題」に関連する事業

【まちづくり市民連携事業】

市内の企業では、次のような取り組みが行なわれています。（藤沢市商業振興の規定による地域貢献計画より）

- ① 高齢者、障がい者にもやさしい店内施設 ルミネ藤沢店、イトーヨーカドー湘南台店、ホテル法華クラブ藤沢

【戦略目標】

2.1 誰にでも優しいユニバーサルデザインのまち

【成果指標】

① 市のバリアフリー化ができていると感じる人の割合

【現状値】 ①21%

【めざそう値】 3年後：①30% 6年後：①40%

【役割の担い手】 ①A:12% B:15% C:18% D:16% E:14% F:24% G:1%



政策と政策評価のための主要な指標

事業から生じる効果を測定するための主要な指標を示します。

《政策-7.1》 人と環境にやさしい都市空間の構築

＜成果の視点＞ 環境に配慮がなされているが、利便性を損なわないまちであること

〔主要な指標〕 公園愛護会の数・参加人数

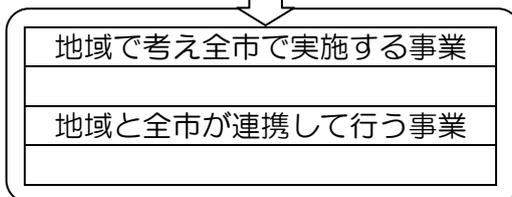
《政策-7.2》 公共交通のユニバーサルデザインの推進

＜成果の視点＞ 誰でも不安や困難のない公共交通であること

〔主要な指標〕 市のバリアフリー化ができていると感じる人の割合（60歳以上）

戦略目標に関するまちづくり事業の状況

まちづくり 地域事業	まちづくり 行政事業 (地区)	まちづくり 行政事業 (全市)	まちづくり 市民連携 事業	まちづくり 公民連携 事業	まちづくり 広域連携 事業



事業名 公園改修事業							
体系コード		事業区分 まちづくり行政事業(全市)					
3-8-67-21-71-1		地域分権区分					
事業内容		公園の開設から30年経過する公園が4割を超える中で、公園利用者の年齢層及びそのニーズも変化しており、また、施設の老朽化も進んでいます。このため、地域のニーズに合わせた公園の再整備が必要となっており、高齢者や障がいを持った人に対するバリアフリー化対策の実施と合わせて、より一層魅力的な、だれにもやさしい公園として利用の促進を図ります。					
活動指標		公園施設の改修率					
目標値		現状値	28%	3年後目標値	46%	6年後目標値 64%	
実績値		H23		H24		H25	
役割期待		地域のニーズに合わせた公園への再整備を進めます。					
事業スケジュール		第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)		H23	H24	H25			
(地域)		実施	→	→	→	→	→
事業の成果		より多くの市民の利用が可能となり、公園が地域のふれあい、憩いの場として有効活用されます。また公園利用が増え、公園に対する親しみ、愛着を持ってもらうことで、公園愛護会活動への参加を促します。					
実施主体		藤沢市まちづくり推進部まちづくりみどり推進課 (連絡先) 0466-25-1111					

事業名 鉄道駅エレベーター設置事業							
体系コード		事業区分 まちづくり行政事業(全市)					
3-8-67-21-72-1		地域分権区分					
事業内容		公共交通のユニバーサルデザインの推進、人にやさしい社会づくりの推進を図るため、障がいがある人にもやさしい住環境の整備を行いユニバーサルデザインの視点立った施設整備の充実を図ります。					
活動指標		エレベーターの設置					
目標値		現状値	0	3年後目標値	1基	6年後目標値	
実績値		H23		H24		H25	
役割期待		エレベーター設置助成を行います。					
事業スケジュール		第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)		H23	H24	H25			
(地域)		検討・調整	→	設置			
事業の成果		障がい者や高齢者等が安全かつ身体的負担の少ない方法でモノレールに乗降できるようにするために整備を行います。障がい者や高齢者等の行動範囲の拡大を図るとともに、利用者の増加が見込まれます。					
実施主体		藤沢市保健福祉部障害福祉課 (連絡先) 0466-25-1111					

～まちづくり情報～

- ① 藤沢市では、NPM（ニュー・パブリック・マネジメント＝新たな公共経営）の考え方を施設マネジメントの基本に置きながら、本市施設の現状を積極的に公開するとともに、今後の公共施設のあり方について幅広い議論を進めることが重要と考え、その基礎的な資料となる「公共施設マネジメント白書」を作成しました。
- ② 藤沢市が保有する公共施設約78.4万㎡（小・中学校、市民センター、公民館、図書館、市民の家、保育園、市民病院、湘南台文化センター、市民会館、市庁舎、児童館、地域子供の家）の約57%の約44.6万㎡が旧耐震基準で建設され、全体の約54%の約42万㎡が建設から20～39年が経過しています。更に、一般に建築物の寿命とされる築30年以上の施設は全体の52.3%の約41万㎡であり、老朽化施設が全体の過半を占めています。



【戦略目標】

22 未来に引き継ぐ公有財産と社会資本を有効活用するまち

【成果指標】

①次世代に社会資本が適正な状態で引き継げると思う市民の割合

【現状値】 ①13%

【めざそう値】 3年後：①20% 6年後：①30%

【役割の担い手】 ①A:12% B:17% C:17% D:16% E:14% F:23% G:1%



政策と政策評価のための主要な指標

事業から生じる効果を測定するための主要な指標を示します。

《政策－73》 都市基盤施設の長寿命化対策の推進

＜成果の視点＞ 都市インフラの質は維持されながら、安定して使い続けられること

〔主要な指標〕

《政策－74》 公共資産の有効活用の推進

＜成果の視点＞ 土地や建物等の公共資産が、公民連携により有効に活用され、長期安定的な財源確保が可能になっていること。特に施設については、利用率や必要性を十分検討の上、維持・廃止・統合等について方針が示されていること

〔主要な指標〕 再整備に当たっての有効活用が検討されている施設数

《政策－75》 公共施設の長寿命化と再構築の推進

＜成果の視点＞ 公共施設によるサービスが、安定して提供されていること

〔主要な指標〕 公共施設の障害に起因する重大なサービスの停止時間

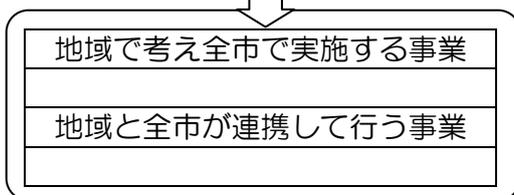
《政策－76》 学校教育施設の有効活用の推進

＜成果の視点＞ 学校教育施設が有効に活用され、地域のくらしやすさにつながる

〔主要な指標〕 学校教育施設の有効活用数

戦略目標に関するまちづくり事業の状況

まちづくり 地域事業	まちづくり 行政事業 (地区)	まちづくり 行政事業 (全市)	まちづくり 市民連携 事業	まちづくり 公民連携 事業	まちづくり 広域連携 事業



事業名	下水道事業(長寿命化対策)(特別会計)						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)					
3-8-69-22-73-1	地域分権区分						
事業内容	下水道施設の計画的な修繕・改築等の長寿命化対策事業を実施します。 ①下水道管路長寿命化対策事業 管路老朽化調査に基づく長寿命化計画策定(鵜沼東部ほか2処理系統)及び長寿命化対策(修繕・改築)実施(延長約90km) ②下水道施設長寿命化対策事業 施設長寿命化計画策定及び長寿命化対策実施(約110設備)						
	活動指標	①長寿命化対策延長(約90km) ②長寿命化対策設備数(約110設備)					
	目標値	現状値	①0km②0	3年後目標値	①10km②18	6年後目標値	①30km②34
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	老朽化調査、長寿命化計画策定及び実施/長寿命化計画策定及び実施を行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	(市域全体)						
(地域)	実施	→	→	→	→	→	
事業の成果	下水道施設の長寿命化対策により、老朽化による下水道管路の破損及び処理場・ポンプ場等の機器類の機能停止等、市民生活に重大な影響を及ぼす事態が回避され、都市機能の維持が図られます。						
実施主体	藤沢市土木部土木経営課					(連絡先) 0466-25-1111	

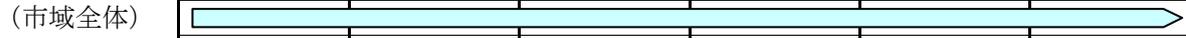
事業名	橋りょう改修事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)					
3-8-69-22-73-2	地域分権区分						
事業内容	1. 橋りょう耐震対策事業 市内に架かる橋りょうの内、緊急輸送路及び避難路に関する橋りょう(36橋)と、利用者が特に多い藤沢駅南北デッキ(2橋)を対象として、耐震補強・落橋防止装置の設置を実施します。 2. 橋りょう長寿命化対策事業 本市管理の道路橋の長寿命化修繕計画策定を行い、予防保全的な修繕工事を実施して橋りょうの延命化を図ります。						
	活動指標	①橋りょう耐震対策(橋) ②橋りょう長寿命化点検(橋)					
	目標値	現状値	①18②59	3年後目標値	①20②189	6年後目標値	①20②287
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	耐震対策設計、耐震対策工事、国県補助金の確保、橋りょう点検を行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	(市域全体)						
(地域)	実施	→	→	→	→	→	
事業の成果	橋りょうの耐震補強・落橋防止装置の設置を行い、耐震性の向上が図られます。予防保全的な維持管理を実施することにより、橋りょうの延命化が図られます。						
実施主体	藤沢市土木部土木維持課					(連絡先) 0466-25-1111	

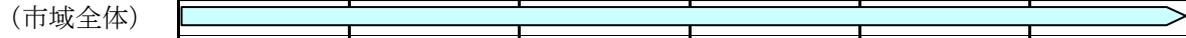
事業名 新幹線跨線橋改修事業							
体系コード		事業区分 まちづくり行政事業(全市)					
3-8-69-22-73-3		地域分権区分					
事業内容 利用実態のない跨線橋を撤去し、維持管理と耐震補強が不要となります。 1. 新幹線跨線橋の耐震対策実施 市民の安全と公共輸送機関の安全確保から、新幹線跨線橋の耐震補強を実施しているもので、市内に存在する6橋のうち平成20年度までに4橋の耐震補強が完了しました。残る2橋(第1原倉見跨線橋・第2天沼跨線橋)については通行者が皆無であり、今後利用予定も無く、老朽化が進んでいることから、平成21年度より撤去事業を進めています。							
活動指標		新幹線跨線橋の耐震対策実施橋りょう数					
目標値		現状値	4橋	3年後目標値	6橋	6年後目標値	
実績値		H23		H24		H25	
役割期待		国県補助金を確保し、跨線橋撤去事業を執行します。					
事業スケジュール							
第1期							
(市域全体)		H23	H24	H25	第2期	第3期	第4期
(地域)		実施	→	→			
事業の成果 老朽化が著しく利用実態の無い跨線橋の撤去を行い、維持管理に要する費用が削減されます。新幹線跨線橋の耐震補強・落橋防止装置の設置を行い、公共交通機関の安全性向上が図られます。							
実施主体 藤沢市土木部土木維持課 (連絡先) 0466-25-1111							

事業名 中村橋架替事業							
体系コード		事業区分 まちづくり行政事業(全市)					
3-8-69-22-73-4		地域分権区分					
事業内容 「都市基盤の長寿命化対策の推進」を図るため、河川改修事業に併せて橋りょうの架替を実施します。 1. 中村橋架替事業 河川改修事業の中で効果的に架替を実施することにより、長寿命化を図るとともに架替費用の分散化を図ります。							
活動指標		中村橋架替事業進捗度					
目標値		現状値	35%	3年後目標値	100%	6年後目標値	
実績値		H23		H24		H25	
役割期待		架替工事の執行、県負担金の協議、関係機関協議を行います。					
事業スケジュール							
第1期							
(市域全体)		H23	H24	H25	第2期	第3期	第4期
(地域)		実施	→	→			
事業の成果 神奈川県施工の引地川河川改修事業や遊水地事業の進捗に併せ、橋りょう架替を行い水害対策の向上を図ります。道路利用者の車両交通の円滑化と歩行者の安全性向上が図られます。							
実施主体 藤沢市土木部土木維持課 (連絡先) 0466-25-1111							

事業名 引地川水系橋りょう架替事業							
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)					
3-8-69-22-73-5	地域分権区分						
事業内容	1. 橋りょう架替事業 神奈川県による引地川および蓼川の総合治水対策特定河川事業に伴う架替事業です。河川改修事業の中で架替を実施することにより長寿命化を図るとともに、架替費用の分散化を図ります。治水に伴う架替と計画道路の幅員に併せた拡幅を行い、車両交通の円滑化と歩行者の安全性を確保するとともに、生活利便性の向上を図ります。						
	活動指標	橋りょうの架替完了進捗度					
	目標値	現状値	0%	3年後目標値	0%	6年後目標値	43%
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待	架替工事の執行、県との協議、関係機関協議を行います。						
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	(市域全体)						
(地域)	実施	→	→	→	→	→	
事業の成果	河川改修事業の中で架替を実施することにより橋りょうの更新が図られます。神奈川県施工の引地川河川改修事業の進捗に併せ、改修計画に整合した橋りょう架替を行い、水害対策の向上を図ります。						
実施主体	藤沢市土木部土木維持課					(連絡先) 0466-25-1111	

事業名 最終処分場整備事業							
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)					
3-8-69-22-73-6	地域分権区分						
事業内容	①最終処分場維持管理事業 最終処分場から発生する浸出水の処理や発生ガスの管理を適正に行うため、機器等の修繕や更新工事及びのり面保護等工事を実施します。 ②最終処分場用地の買い戻し 最終処分場全体の適正な管理を行うため、土地公社にて先行取得した用地の買い戻し、及び借地購入の検討と実施を行います。						
	活動指標	残余容量の確保と及び適正な維持管理					
	目標値	現状値	100%	3年後目標値	100%	6年後目標値	100%
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待	最終処分場廃止までの維持管理を行います。						
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	(市域全体)						
(地域)	実施	→	→	→	→	→	
事業の成果	最終処分場の機器を整備することにより、施設の機能を維持し、浸出水等を適正に処理することにより、環境汚染を未然に防止し、市民の安全・安心を確保することができます。						
実施主体	藤沢市環境部資源廃棄物対策課					(連絡先) 0466-25-1111	

事業名 公共資産活用関係事業							
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)					
3-8-69-22-74-1	地域分権区分						
事業内容	財産区分を問わず本市が所有する土地の状況及び今年度からは建物等の不動産も対象として有効活用の検討を行っております。事業化の予定がないものについて洗い出しを行い、その有効活用に向けた検討します。市民の大切な財産を把握し、適切な維持管理と資産の有効活用は、公会計改革の趣旨にもあり、資産の有効活用策を構築するという観点から、土地建物以外に道路や橋梁、下水など本市が所有するすべての財産を集約した資産台帳整備を検討します。						
	活動指標	資産の有効活用検討件数					
	目標値	現状値	0件	3年後目標値	3件	6年後目標値	5件
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	本市が所有する土地及び建物の状況と有効活用を検討、システムの導入・運用を行います。					
事業スケジュール (市域全体)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
							
	実施	→	→	→	→	→	
(地域)							
事業の成果	財産の把握と換価を含めた適切な維持管理と資産の有効活用の促進が図られます。資産台帳システムの導入整備により資産の有効活用策の迅速な調査・検討が可能になります。						
実施主体	藤沢市経営企画部資産経営課					(連絡先) 0466-25-1111	

事業名 清掃施設周辺環境整備事業							
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)					
3-8-69-22-74-2	地域分権区分						
事業内容	地域の環境特性を充分把握し、周辺の土地利用との整合を図るため、女坂最終処分場周辺の整備を実施します。将来的な上部土地利用に向けた計画及び整備を行います。 ① 最終処分場の有効な土地利用 ② 最終処分場から排出される排水の下水道放流 ③ 周辺の生活道路等の整備 ④ その他生活環境の向上に資する整備 ⑤ 最終処分場上部利用に関する整備						
	活動指標	整備事業の総数量から執行した事業数の割合					
	目標値	現状値	83%	3年後目標値	85%	6年後目標値	93%
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	女坂最終処分場等の周辺環境の整備を行います。					
事業スケジュール (市域全体)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
							
	実施	→	→	→	→	→	
(地域)							
事業の成果	地域の憩いの場または健康増進の場としての有効利用を図ることができます。災害廃棄物の仮置場としての整備を行うことにより、災害発生時の防疫や迅速な災害復旧に資することができます。						
実施主体	藤沢市環境部資源廃棄物対策課					(連絡先) 0466-25-1111	

事業名 公共施設再整備事業							
体系コード		事業区分 まちづくり行政事業(全市)					
3-8-69-22-75-1		地域分権区分					
事業内容		市庁舎、市民会館エリア及び湘南C-X C-1街区の3つの土地を活用した、市庁舎、市民会館及び南市民図書館等の建て替えに向けた事業手法やファイナンスのシミュレーションを行い公民連携による民間活力を導入するため民間事業者からのアイデア提案募集要綱整備を行います。 平成20年に作成された「公共施設マネジメント白書」を必要に応じて経年変化などを考慮しながら改訂等に取り組んでいきます。現在ある紙台帳のシステム化とその情報を基に維持保全費の平準化を行います。					
活動指標		庁舎等の建設の進捗度					
目標値		現状値	0%	3年後目標値	30%	6年後目標値 80%	
実績値		H23		H24		H25	
役割期待		市庁舎等について新たに機能再編することにより、施設の有効活用を図る観点から余剰空間等の利用を行います。					
事業スケジュール		第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)		H23	H24	H25			
(地域)							
事業の成果		老朽化、耐震性能の低下による市庁舎を建て替えることにより大規模災害に備え、多様な市民ニーズに応えるための施設整備が図られます。					
実施主体		藤沢市経営企画部資産経営課 (連絡先) 0466-25-1111					

事業名 大庭台墓園立体墓地整備事業(特別会計)							
体系コード		事業区分 まちづくり行政事業(全市)					
3-8-69-22-75-2		地域分権区分					
事業内容		大庭台墓園立体墓地内の未整備となっている区画の納骨壇の整備を行い、墓地を有しない市民の墓地需用に応えます。					
活動指標		立体墓地納骨壇整備(普通納骨壇・集合納骨壇)					
目標値		現状値	2,853基	3年後目標値	4,700基	6年後目標値 —	
実績値		H23		H24		H25	
役割期待		納骨壇の整備により、墓所を求める市民に対して墓地需要に応えます。					
事業スケジュール		第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)		H23	H24	H25			
(地域)							
事業の成果		大庭台墓園立体墓地内の未整備となっている区画の納骨壇の整備を行うことによって、市民の墓地需要に応え、安心してゆとりある高齢期を平穏に暮らせるまちづくりの推進がはかられます。					
実施主体		藤沢市保健福祉部保健医療福祉課 (連絡先) 0466-25-1111					

事業名 消防署所改築整備事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-8-69-22-75-3	地域分権区分					
事業内容	市内消防体制の充実強化を目的とし、消防力の整備目標である「消防力の整備指針」に基づく整備計画及び老朽化した既存庁舎の改築整備を推進していくため、事業の必要性や優先順位などを精査するとともに、整備手法にあってもPFI事業や公民連携提案事業制度の検討を視野に入れ、有効な消防体制の確保をめざします。					
活動指標	消防庁舎整備計画に基づく年度達成率					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	25%	6年後目標値	50%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市民の安全・安心を確保するため、消防体制の充実強化を目的とした施設整備を担います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	実施	→	→	→	→	→
(地域)						
事業の成果	迅速な高度救命処置の実施可能が救命率の向上に繋がり、救急体制の充実強化に繋がるとともに、初動体制の確保及び市内全体の消防力の充実強化が図れます。					
実施主体	藤沢市消防本部消防総務課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名 藤沢公民館改築事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-8-69-22-75-4	地域分権区分					
事業内容	市民をとりまく生涯学習環境向上のための事業を実施します。建築後47年以上経過して老朽化が著しい藤沢公民館の改築を検討します。					
活動指標	整備状況進捗度(%)					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	10%	6年後目標値	90%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	安心安全が保証され利便性が高く、地域のニーズに合った施設の検討を進めます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	実施	→	→	→	→	→
(地域)						
事業の成果	駐車場の完備、バリアフリー化など利用者にとって利便性が図られ、市民サービス向上につながります。安心安全な施設提供ができ、災害時に地域防災拠点としてより適した施設となります。					
実施主体	藤沢市教育委員会生涯学習部藤沢公民館					(連絡先) 0466-25-1111

事業名 村岡公民館改築事業							
体系コード		事業区分 まちづくり行政事業(全市)					
3-8-69-22-75-5		地域分権区分					
事業内容		市民をとりまく生涯学習環境向上のための事業を実施します。村岡地区における市民の地域活動、学習文化活動及び防災等の拠点として、建築後44年以上経過して著しく老朽化している村岡公民館改築について検討します。					
活動指標		整備状況進捗度(%)					
目標値		現状値	0%	3年後目標値	10%	6年後目標値 90%	
実績値		H23		H24		H25	
役割期待		安心安全が保証され利便性が高く、地域のニーズに合った施設の検討を進めます。					
事業スケジュール		第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)		H23	H24	H25			
		実施	→	→	→	→	→
(地域)							
事業の成果		駐車場の完備、バリアフリー化など利用者にとって利便性が図られ、市民サービス向上につながります。安心安全な施設提供ができ、災害時に避難場所としてより適した施設となります。					
実施主体		藤沢市教育委員会生涯学習部村岡公民館 (連絡先) 0466-25-1111					

事業名 市民センター等再構築事業							
体系コード		事業区分 まちづくり行政事業(全市)					
3-8-69-22-75-6		地域分権区分					
事業内容		地区ごとの市民主体のまちづくりの推進を図るため、公共資産の有効活用と公民連携の視点に立って、公共施設等の地用実態や老朽化、機能更新の時期を踏まえ、計画的に市民センター等の再構築を行います。					
活動指標		再構築した施設数					
目標値		現状値	0	3年後目標値	0	6年後目標値 1	
実績値		H23		H24		H25	
役割期待		地域経営会議との連携・協働による地域コミュニティ施設の有効活用の視点に立った検討等の支援、及び公民連携による民間活力の活用を行います。					
事業スケジュール		第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)		H23	H24	H25			
		検討・調整	→	実施	→	→	→
(地域)							
事業の成果		地域経営会議が市民センター・公民館と連携し、公共施設等の利用実態や老朽化、機能更新の時期を踏まえ、計画的な市民センター等の再構築の検討を行うことにより、地域主体のまちづくりが推進されるとともに、公共資産の有効活用が図られます。					
実施主体		藤沢市市民自治部市民自治推進課 (連絡先) 0466-25-1111					

事業名	学校教育施設の有効活用の推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-8-69-22-76-1	地域分権区分					
事業内容						
活動指標						
目標値	現状値		3年後目標値		6年後目標値	
実績値	H23		H24		H25	
役割期待						
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
	H23	H24	H25			
(市域全体)						
	実施	→	→	→	→	→
(地域)	制度活用	→	→	→	→	→
事業の成果						
実施主体	(連絡先) 0466-25-1111					

都市ビジョン3
さらなる可能性を追求する創造発信都市

藤沢づくりのめざす方向性

9 「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」の創出

湘南の環境と文化、ブランド力等の地域の特性を活かした、魅力的な生活（「藤沢ライフスタイル」）や創造的な湘南の文化（「湘南カルチャー」）の創出をめざし、その魅力と価値を発信します。そして、市民一人ひとりが豊かな心を育み、地域と世界をつなぐ国際交流等を通じて人材を育て、文化にふれあう交流発信のまちをつくりあげることをめざします。

ふじさわ未来課題

76 訪れる人・住む人に配慮した心遣いや工夫があること

～まちづくり情報～

- ① 藤沢市には、国登録有形文化財が2件、国指定文化財が9件、県指定文化財が14件、市指定文化財が67件あります。
- ② 市では考古資料約21,200点、民族資料約7,170点、歴史資料約2,630点などを保管しています。
- ③ 市内では13地区で公民館まつりが行われ、約12万人の市民が参加しています。地域で市民と文化が交流し、楽しむイベントとして愛され、続けられています。
- ④ 毎年開催している市民まつりも37回を数え、約18万人の市民が来場しています。また、湘南台ファンタジアも12回開催されています。



【戦略目標】

23 地域の伝統や文化を継承，多様なライフスタイルが生まれるまち

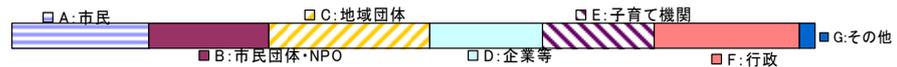
【成果指標】

① 伝統行事への参加割合

【現状値】 ①39%

【めざそう値】 3年後：①50% 6年後：①56%

【役割の担い手】 ①A:17% B:15% C:20% D:14% E:14% F:18% G:2%



政策と政策評価のための主要な指標

事業から生じる効果を測定するための主要な指標を示します。

《政策-77》 歴史・文化財の保存・継承活動の推進

＜成果の視点＞ 歴史，文化財等が保存され，次世代に引き継がれること

〔主要な指標〕 各地区などでの保存活動に関する事業数

《政策-78》 伝統文化の保存・継承活動の推進

＜成果の視点＞ 伝統文化が保存され，次世代に引き継がれること

〔主要な指標〕 伝統行事への20歳～30歳代の参加割合

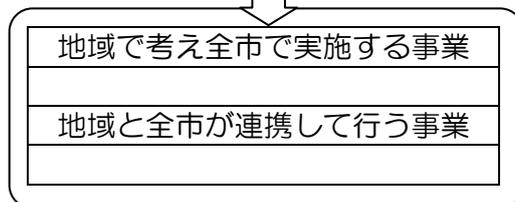
《政策-79》 地域の市民文化活動の支援

＜成果の視点＞ 地域で市民文化活動が継承・発展・創造されていること

〔主要な指標〕 学校での書道ボランティア活動の延べ人数

戦略目標に関するまちづくり事業の状況

まちづくり 地域事業	まちづくり 行政事業 (地区)	まちづくり 行政事業 (全市)	まちづくり 市民連携 事業	まちづくり 公民連携 事業	まちづくり 広域連携 事業



事業名 文化財資料整備事業							
体系コード		事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-9-76-23-77-1		地域分権区分					
事業内容		1. 埋蔵文化財出土遺物整理事業…調査会社で保管されたまま相当年が経過した4遺跡の資料を整理し、調査報告書を刊行し、公開・活用可能なものとします。 2. 埋蔵文化財出土遺物再整理事業…出土遺物を再整理し、調査報告書等を作成し、公開・活用可能なものとします。					
活動指標		①埋蔵文化財出土遺物整理事業進捗状況 ②埋蔵文化財出土遺物再整理事業進捗状況					
目標値		現状値	①40% ②0%	3年後目標値	①100%②100%	6年後目標値	
実績値		H23		H24		H25	
役割期待		行政は記録保存のため埋蔵文化財の調査を進めます。					
事業スケジュール		第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)		H23	H24	H25			
(地域)		実施	→	→			
事業の成果		資料が公になることで、展示等の公開活用が図られ、また、学術的な調査・研究が進むことで、郷土の歴史の解明が進み、その成果を市民に還元することができます。					
実施主体		藤沢市教育委員会生涯学習生涯学習課				(連絡先) 0466-25-1111	

事業名 保管施設整備事業							
体系コード		事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-9-76-23-77-2		地域分権区分					
事業内容		生涯学習課博物館準備担当所管収蔵施設を適正に管理し、博物館資料の保存環境を良好な状態に保つため、各収蔵庫の機能を見直します。収蔵資料を展示公開などを通じて市民への還元を図ります。					
活動指標		保全資料の移転実施割合					
目標値		現状値	0%	3年後目標値	10%	6年後目標値	100%
実績値		H23		H24		H25	
役割期待		資料保管を行います。					
事業スケジュール		第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)		H23	H24	H25			
(地域)		検討・調整	実施	→	→	→	→
事業の成果		収蔵施設の機能を見直すことで、考古資料・民俗資料等を適切に管理します。収蔵資料を展示公開などを通じて市民への還元を図ることができ、多様なニーズに応えることが可能になります。					
実施主体		藤沢市教育委員会生涯学習生涯学習課				(連絡先) 0466-25-1111	

事業名	保存民家復原公開事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-9-76-23-77-3	地域分権区分					
事業内容	大きな収蔵空間を占めながら、長年収蔵し続けてきている広文堂店蔵、下土棚農家、江の島漁師の家、村岡の土蔵の4件の解体保存建物の移築復原、公開活用を検討します。					
活動指標	復原計画の策定件数					
目標値	現状値	0件	3年後目標値	0件	6年後目標値	2件
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	行政は保存民家の活用方法の検討。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	検討	→	→	実施	→	→
(地域)						
事業の成果	復原された建物を市民の利用に供することで、より多くの体験学習の機会を提供することができます。					
実施主体	藤沢市教育委員会生涯学習生涯学習課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	藤沢市の地名調査事業					
体系コード	事業区分	まちづくり市民連携事業				
3-9-76-23-77-4	地域分権区分					
事業内容	藤沢市内の地名を通じて、藤沢の歴史、地理、民俗、考古を調べ、後世に伝え、ふるさと意識を啓発するとともに、地域文化の創造に資することを目的とし、会員制をとりますが、地名探訪・講演会・映画会等は非会員の参加を広く呼び掛けて成果をあげています。また、講演会(市委託事業年2回)、会員研究発表会1回、地名探訪年3回、映画会年1回、会員向けに、地誌輪読会月1回、「藤沢の地名」を読み訪ねる会月1回、古文書解説会月1回、特別企画(市外探訪)年2回、ホームページも開設などを主に行っております。					
活動指標						
目標値	現状値	—	3年後目標値	—	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	藤沢市教育委員会の委託事業として、年2回講演会を開催し、広く非会員にも公開しています。また、地域探訪・会員研究発表会・映画会を非会員の参加も得て積極的に実施しております。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	実施	→	→	→	→	→
(地域)						
事業の成果	藤沢地区に関する歴史、史跡、民俗等の文化遺産を認識し、後世に引き継ぐことの意義を多くの人々に伝えるために、会員(現在約200名)の増強、公開事業に対する非会員の参加者増加を図り、認識対象を市域に関係ある近隣地域迄広げ、より広い意味で藤沢の認識の充実を図ります。					
実施主体	藤沢地名の会					(連絡先) 0466-22-4567

事業名 映像資料整備公開事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-9-76-23-78-1	地域分権区分					
事業内容	フィルムの点検・清掃・修復を行います。修復が完了したフィルムは逐次、市民に公開し、成果を還元します。					
活動指標	整備された資料(映画)の本数					
目標値	現状値	0本	3年後目標値	0本	6年後目標値	6本
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	行政は映像メディアを恒久的に保管し、市民に公開します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
	H23	H24	H25			
	(市域全体)	----->			→	
	検討	→	→	実施	→	→
(地域)						
事業の成果	現在保有する映像を新たなメディアに保存することで劣化から救い、将来の市民に引き継ぐとともに、復原された鮮やかな映像によって、地域社会の記憶が具体化されます。					
実施主体	藤沢市教育委員会生涯学習生涯学習課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名 市指定史跡耕余塾跡整備事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-9-76-23-79-1	地域分権区分					
事業内容	明治地区にある藤沢市指定史跡「耕余塾の跡」を安全かつ適切に管理し、歴史の継承と郷土愛の育成を図る。					
活動指標	整備の進捗状況					
目標値	現状値	20%	3年後目標値	100%	6年後目標値	100%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市指定史跡である耕余塾跡の史跡整備を行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
	H23	H24	H25			
	(市域全体)	→			→	
	実施	→	→	→	→	→
(地域)						
事業の成果	「耕余塾跡」に近接したところには「旧三鶯八郎右衛門家住宅」が残り、地域の方々の協力により公開されています。このように、本市が誇る史跡、ゆかりの深い歴史的建物等の豊かな地域資源を次世代へと継承・発展させていくことで、郷土愛の育成を図ることができます。					
実施主体	藤沢市教育委員会生涯学習生涯学習課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	コッキング遺構整備活用事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-9-76-23-79-2	地域分権区分					
事業内容	現在、コッキング苑内に遺存する煉瓦造の温室遺構群の調査を進め、その文化財的価値についての評価を得ることで、今後の歴史・文化の継承や地域の特性を活かした文化の発展において、活用を図るものです。					
活動指標	整備の進捗状況					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	0%	6年後目標値	10%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	コッキング温室遺構の文化財的価値の調査、評価、文化財指定、保存活用計画策定を行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	検討・調整	→	方針決定	活用	→	→
事業の成果	文化の薫る観光地としての価値も加わることとなります。こうした文化財的価値についての評価を得ることで、今後の歴史・文化の継承や地域の特性を活かした文化の発展に寄与し、市民に還元することができます。					
実施主体	藤沢市教育委員会生涯学習生涯学習課					(連絡先) 0466-25-1111

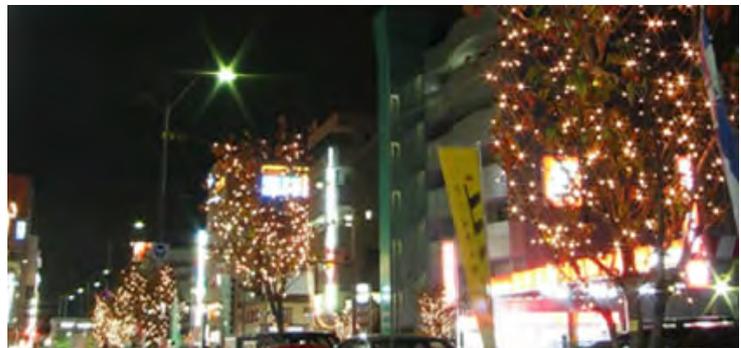
事業名	江の島海軍砲陣地跡整備事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-9-76-23-79-3	地域分権区分					
事業内容	江ノ島島内に遺存する海軍が配備した砲陣地跡の調査を実施し、その文化財的価値についての評価を得ることで、今後の歴史・文化の継承や地域の特性を活かした文化の発展において、活用を図るものです。					
活動指標	整備の進捗状況					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	0%	6年後目標値	100%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	遺構の文化財的価値の調査、評価、文化財登録、保存活用計画策定を行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	調査・検討	→	→	実施	→	→
事業の成果	今後の地域まちづくりにおける歴史・文化の継承について活用が図られます。また、コッキング庭園、温室遺構と合わせて江の島の近代から現代にわたる歴史的観光資源の整備ができることで、江の島の更なる文化財的価値を得ることで、観光資源としても活用可能となります。					
実施主体	藤沢市教育委員会生涯学習生涯学習課					(連絡先) 0466-25-1111

ふじさわ未来課題

81 地域の記憶や文化が継承され、発展すること

～まちづくり情報～

- ① 藤沢市では、「藤沢市展」「藤沢音楽祭」「ロビーコンサート」などを開催しています。
- ② 「藤沢市民オペラ」は、優れた芸術の普及と地域に根ざした市民文化の創造を目的に市民参加の自主事業として20回以上の講演を行っています。
- ③ 学生・地域住民・商店街・企業・行政などが協力して、イルミネーション・ツリーの装飾やイベントの開催を通じて、湘南台の冬を演出する「イルミネーション湘南台」も地域の風物詩となっています。



この「ふじさわ未来課題」に関連する事業

【まちづくり市民連携事業】

市内の企業では、次のような取り組みが行なわれています。（藤沢市商業振興の規定による地域貢献計画より）

- ① 南口サーフ事業やイルミネーション事業への協力 株式会社小田急百貨店藤沢店

【戦略目標】

24 市民一人ひとりが豊かな心を育む文化に触れ合う交流発信のまち

【成果指標】

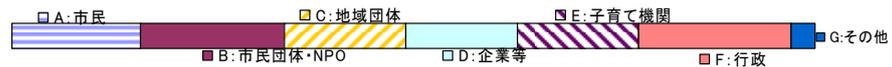
① 市域に文化があふれていると感じている市民の割合

② 市民による芸術文化活動の充実

【現状値】 ①25% ②32%

【めざそう値】 3年後：①35% ②40% 6年後：①45% ②45%

【役割の担い手】 ①A:16% B:18% C:15% D:14% E:15% F:19% G:3%



②A:17% B:17% C:12% D:13% E:18% F:20% G:3%



政策と政策評価のための主要な指標

事業から生じる効果を測定するための主要な指標を示します。

《政策－80》 市民主体の市民文化を創造する芸術文化普及振興活動の推進

＜成果の視点＞ 新たな市民文化が市民の手で育てられ、広まること

〔主要な指標〕 藤沢音楽祭の出演応募者数

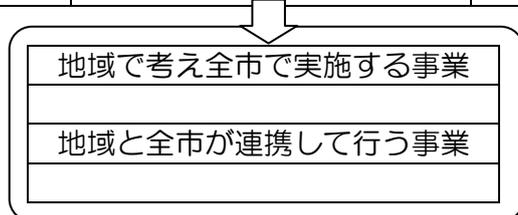
《政策－81》 クリエイティブシティ（文化芸術創造都市）の創出

＜成果の視点＞ 文化・芸術活動がさまざまなところでくりひろげられ、創造文化の溢れるまちであること

〔主要な指標〕 ロビーコンサート実施回数

戦略目標に関するまちづくり事業の状況

まちづくり 地域事業	まちづくり 行政事業 (地区)	まちづくり 行政事業 (全市)	まちづくり 市民連携 事業	まちづくり 公民連携 事業	まちづくり 広域連携 事業



事業名 文化行事事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-9-81-24-80-1	地域分権区分					
事業内容	<p>1. 藤沢音楽祭事業:プロの演奏家をはじめ専門的に音楽を勉強しプロの演奏家を目指す市民や、ライフワークとして楽器演奏を続けている市民など、プロとアマチュアが協働で音楽祭のステージを作り上げます。</p> <p>2. こころの劇場招待事業:劇団四季によるこころの劇場は、平成22年度から市立小学校6年生を中心とした児童生徒に鑑賞する機会を提供しています。</p> <p>3. 市民シアター第九演奏会事業:湘南台文化センターにある市民シアターにおいて市民公募により参加した会員で結成し、音楽文化の向上に資する事業を実施します。</p>					
活動指標	藤沢音楽祭事業の入場者数					
目標値	現状値	1575人	3年後目標値	1600人	6年後目標値	1700人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	行政は、会場の確保や出演者の募集広報、関係団体・小田急線各駅等へのチラシ配布及びポスター掲示を行います。劇団四季は「こころの劇場」を開催します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
	H23	H24	H25			
	(市域全体)					
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	市民が素晴らしい音楽と身近にふれあえ、学ぶ事が出来る場を提供し、次世代の人材を育てていくことができるとともに創造的な湘南文化が創出されます。また、より感受性豊かな藤沢市の児童生徒を育てていきます。					
実施主体	藤沢市教育委員会生涯学習文化推進課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名 市民会館改築事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-9-81-24-80-2	地域分権区分					
事業内容	開館以来42年余りが経過し、施設及び設備の老朽化が著しく会館の改築工事等新たな整備計画について、庁舎、南市民図書館などの公共施設再整備事業の中で検討を進めていきます。					
活動指標	改築の進捗度					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	30%	6年後目標値	80%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	老朽化、耐震性能の低下による市民会館を建て替えることにより、多様な市民ニーズに応えるための施設整備が図られます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
	H23	H24	H25			
	(市域全体)					
(地域)	検討	→	実施	→	→	→
事業の成果	良好な施設環境の維持と、市民が集い、交流し、藤沢が培ってきた文化、芸術などを通じて、新たな都市の魅力を創出することができます。					
実施主体	藤沢市教育委員会生涯学習文化推進課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	フラワーボランティア事業					
体系コード	事業区分	まちづくり市民連携事業				
3-9-76-24-80-3	地域分権区分					
事業内容	「フラワーボランティアによる社会の健全な発展とコミュニティづくりに寄与する」 高齢者施設におけるフラワーボランティア及び、介護予防をかねた生涯教育としてのフラワー活動、子育て支援としてのフラワーセラピー教室、教育相談センターでの活動を行います。					
活動指標						
目標値	現状値	—	3年後目標値	—	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	協働している団体としては「湘南サポートDVセンター」と「じゃんけんぽん」です。また、藤沢市の教育委員会や子育て支援課との協働活動も実施します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	人材育成として講座受講生を20名に増やし、高齢者施設での活動を6カ所から8カ所に増やします。また、生涯教育の活動の場を1カ所から2カ所に増やします。					
実施主体	特定非営利活動法人「フラワーセラピー研究会・藤沢地区」 (連絡先) 0466-27-1480					

事業名	公開型保管施設建設事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-9-81-24-81-1	地域分権区分					
事業内容	博物館資料を適切に保管するとともに、それらを市民に公開活用を図るための施設整備を検討します。					
活動指標	施設整備の進捗状況					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	10%	6年後目標値	70%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	行政は保有する文化資産を保存、継承、公開し、市民に活用を促します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	地域の歴史・文化資産を次代へ適切に伝えていくことが可能になるとともに、市民(地域)の歴史・文化情報に対するニーズに応え、郷土愛の醸成を促すことができます。					
実施主体	藤沢市教育委員会生涯学習部生涯学習課 (連絡先) 0466-25-1111					

